

口演，論文，著書など

保健学部

目 次

物理学・医用工学研究室	151	看護養護学Ⅰ研究室	166
臨床薬理学Ⅰ・Ⅱ研究室	151	看護養護学Ⅱ研究室	167
分析化学Ⅰ・Ⅱ研究室	151	看護養護学Ⅲ研究室	167
分子生物学研究室	151	看護養護学Ⅳ研究室	167
解剖学・細胞生物学研究室	152	病態学研究室	167
病理学研究室	152	生命支援工学研究室	169
臨床血液学研究室	153	先端臨床工学研究室	170
生理機能検査学研究室	153	生理・生体・情報工学研究室	170
免疫学研究室	154	血液浄化療法学研究室	170
臨床微生物学教室	155	循環器病態生理学研究室	171
臨床検査学研究室	155	基礎理学療法学研究室	171
細胞診断学研究室	155	運動障害系理学療法学研究室	172
臨床検査教育学研究室	155	小児発達障害系理学療法学研究室	173
環境保健学研究室	156	神経障害系理学療法学研究室	174
公衆衛生学研究室	156	内部障害系理学療法学研究室	175
心理学・社会福祉学研究室	157	精神保健学研究室	176
健康教育学研究室	158	母子保健学研究室	177
生理学研究室	159	運動器障害作業療法学研究室	177
救急救命学研究室	159	精神障害作業療法学研究室	178
神経生理学研究室	159	認知障害作業療法学研究室	179
医療安全管理学研究室	160	中枢神経障害作業療法学研究室	180
在宅看護学研究室	161	放射線医学研究室	181
基礎看護学研究室	161	医用画像情報学研究室	182
成人・高齢者看護学研究室	161	放射線安全管理学研究室	182
母子看護学研究室	162	量子医療技術研究室	183
助産学研究室	162		
小児看護学研究室	163		
地域看護学研究室	163		
精神看護学研究室	164		
医療科学Ⅰ研究室	165		
医療科学Ⅱ研究室	165		

物理学・医用工学研究室

論文

1. 川澄岩雄：国家試験に使用されているカタカナ語について．杏林大学研究報告 教養部門 31：75-81, 2014.

その他

1. 川澄岩雄：平成 25 年度第 1 回～第 3 回臨床検査技師模擬試験問題，医歯薬出版株式会社，平成 25 年 9 月，11 月，平成 26 年 1 月

臨床薬理学 I・II 研究室

口演

1. 柴崎浩美¹，鈴木厚¹，加藤利康¹，横川彰朋¹，細田香織，石井和夫，古田隆¹（¹東京薬大）：コルチゾール 6 b- 水酸化代謝クリアランスによる CYP3A 活性評価：血中コルチゾール濃度 - 時間曲線下面積算出のための limited sampling strategy. 第 30 回日本 TDM 学会・学術大会，熊本，平成 25 年 5 月 25 日 -26 日.
2. 横川彰朋¹，柴崎浩美¹，細田香織，石井和夫，古田隆¹（¹東京薬大）：ヒト in vivo における 11b-HSD2 活性の日内・日間変動に関する研究. 第 53 回日本臨床化学会年次学術集会，徳島，平成 25 年 8 月 30 日 -9 月 1 日.
3. Hosoda K, Hirano-Shibasaki H¹, Yokokawa A¹, Furuta T¹, Ishii K（¹Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences）：Individual differences in the metabolism of isoflavones after soy ingestion in 5 age-matched young women. IUNS 20th International Congress of Nutrition, Spain, September 15-20, 2013.
4. Shibasaki-Hirano H¹, Minowa Y¹, Ayukawa H¹, Yokokawa A¹, Hosoda K, Ishii K, Nagashima F², Furuse J², Furuta T¹（¹Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences, ² Department of Internal Medicine, Medical Oncology, Kyorin University School of Medicine）：Simultaneous measurement of irinotecan and its metabolites in human plasma by HPLC with fluorescence detection. 13th International Congress of Therapeutic Drug Monitoring & Clinical Toxicology, USA, September 22-26, 2013.
5. 石川千尋，細田香織，横川彰朋¹，柴崎浩美¹，古田隆¹，石井和夫（¹東京薬大）：きな粉摂取後のヒト血漿および尿中における (R)-equol および (S)-equol の検出. 日本薬学会第 134 年会，熊本，平成 26 年 3 月 27 日 -30 日.
6. 北郷智美，細田香織，柴崎浩美¹，横川彰朋¹，古田隆¹，石井和夫（¹東京薬大）：カテコールアミン産生腫瘍のスクリーニング検査項目を集約した LC-MS/MS 分析法の開発. 日本薬学会第 134 年会，熊本，平成 26 年 3 月 27 日 -30 日.
7. 長谷川瑞希，細田香織，柴崎浩美¹，横川彰朋¹，古田隆¹，石井和夫（¹東京薬大）：大豆イソフラボン daidzein 代謝物の生成に関与する UGT 酵素分子

種の解明. 日本薬学会第 134 年会，熊本，平成 26 年 3 月 27 日 -30 日.

8. 横川彰朋¹，青野智恵美¹，柴崎浩美¹，細田香織，石井和夫，古田隆¹（¹東京薬大）：LC-MS/MS による尿中 6 α -および 6 β -ヒドロキシコルチゾールの安定同位体質量分析法の開発. 日本薬学会第 134 年会，熊本，平成 26 年 3 月 27 日 -30 日.
9. 柴崎浩美¹，金網祐美¹，遠藤さゆり¹，横川彰朋¹，細田香織，石井和夫，古田隆¹（¹東京薬大）：HPLC-UV 法による血漿中ソラフェニブ定量法の開発. 日本薬学会第 134 年会，熊本，平成 26 年 3 月 27 日 -30 日.

論文

1. 杉山智恵，細田香織，石井和夫：HPLC-UV によるヒト尿中のバニリルマンデル酸，ホモバニリン酸，クレアチニンの同時定量法の検討. 杏林医学会雑誌 44: s1, 2013.
2. 細田香織，柴崎浩美¹，横川彰朋¹，古田隆¹，石井和夫（¹東京薬大）：日本人のイソフラボン代謝および体内動態における個人差. 日本食品化学学会会誌 20(3): 153-160, 2013.

分析化学 I・II 研究室

論文

1. 佐藤英助¹，岡田洋二，丘島晴雄（¹青森大学）：環境と健康（第 81 報）環境と健康（第 81 報）加速度脈波法によるマッサージの血管年齢への効果. 青森大学研究紀要 36(1)：79-91, 2013.
2. 佐藤英助¹，奈良譲¹，岡田洋二，丘島晴雄（¹青森大学）：環境と健康（第 82 報）ハ マナスの花弁を主とする抗酸化活性について. 青森大学研究紀要 36(2)：61-79, 2013.

分子生物学研究室

口演

1. Gamou S: Cultural and Ethical variances in Medical Ethics: Decision Making for the Oldest Old-A Japanese Perspective. 26th Summer Seminar in Clinical Ethics, University of Washington, Seattle,, Aug 9, 2013. (招待講演)
2. 相磯聡子，神谷茂，米澤英雄：大腸菌アンチセンス RNA ArrS による標的 mRNA の安定化. 第 87 回日本細菌学会年会，東京，平成 26 年 3 月 26-28 日.

論文

1. Kataoka M, Aimi Y, Yanagisawa R, Ono M, Oka A, Fukuda K, Yoshino H, Satoh T, Gamou S: *Alu*-mediated nonallelic homologous and nonhomologous recombination in the *BMP2* gene in heritable pulmonary arterial hypertension. Genet Med 15: 941-947, 2013.
2. Aimi Y, Hirayama T, Kataoka M, Nishimaki S, Matsushita K, Yoshino H, Satoh T, Gamou S: Single Nucleotide polymorphisms of the *ALK1* and *ENG* genes

in patients with Pulmonary Arterial Hypertension. J Kyorin Med Soc 44: 137-142, 2013.

3. Aimi Y, Hirayama T, Kataoka M, Momose Y, Nishimaki S, Matsushita K, Yoshino H, Satoh T, Gamou S: A novel breakpoint of the *BMP2* gene exonic deletion in a patient with Pulmonary Arterial Hypertension. J Human Genet 58: 815-818, 2013.
4. 相磯聡子：腸管出血性大腸菌 O157:H7 の病原性発現における酸応答レギュレーター GadE の関与. 杏林医会誌 44: 39-42, 2013.
5. 相見祐輝, 片岡雅晴, 水見彩子, 佐藤徹, 吉野秀朗, 岡明, 小野正恵, 蒲生忍：肺動脈性肺高血圧症の遺伝解析の現状と問題点 杏林医会誌 44:43-51, 2013.

その他

1. 村田麻喜子：再生・分化のモデル生物ヤマトヒメミミズの生活史における遺伝子発現プロファイル作成. 科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究 課題番号: 23650240) 代表研究報告書.

解剖学・細胞生物学研究室

口 演

1. Fujiwara K, Horiguchi K, Jindatip D, Ly F, Yashiro T : Identification of midkine-expressing cells in the anterior pituitary gland of adult rats. The Endocrine Society's 95TH ANNUAL MEETING, USA, June 15. 2013.
2. Syaidah I, Horiguchi K, Fujiwara K, Yashiro T : Laminin and collagen type-I modulate fibromodulin expression in FS cells of anterior pituitary gland. The Endocrine Society's 95TH ANNUAL MEETING, USA, June 15. 2013.
3. Yako H, Higuchi M, Yoshida S, Horiguchi K, Fujiwara K, Kanno N, Chen M, Uehara H, Tsuda M, Kato T, Yashiro Y and Kato Y : S100b-positive cells (follicle satellite cell) drove from two different origins in the rat pituitary. The Endocrine Society's 95TH ANNUAL MEETING, USA, June 15. 2013.
4. 屋代隆, Depicha Jindatip, Alimuddin Toftzyal, 幸喜富, 東森生, 菊地元史, 堀口幸太郎：ラット下垂体前葉における新規細胞種の発見 -Desmin-immunopositive Perivascular Cell-, 第 28 回日本下垂体研究会学術集会, 花巻, 平成 25 年 8 月 10 日.
5. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 樋口雅司, 加藤たか子, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄：下垂体前葉に存在する S100 タンパク陽性細胞の不均一性の探求, 第 28 回日本下垂体研究会学術集会, 花巻, 平成 25 年 8 月 10 日.
6. 八子英司, 堀口幸太郎, 樋口雅司, 藤原研, 吉田彩舟, 陳黙, 菅野尚子, 加藤たか子, 屋代隆, 加藤幸雄：ラット胎仔期に濾胞星状細胞様細胞が下垂体に侵入する, 第 28 回日本下垂体研究会学術集会, 花巻, 平成 25 年 8 月 10 日.
7. 大迫俊二：ニューロン特異的 C2HC 型 Zn フィンガー

転写因子 dNZF の機能解析, 第 1 回むさしのショウジョウバエ研究会, 三鷹, 平成 25 年 8 月 24 日.

8. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 樋口雅司, 長谷川瑠美, 瀧上周, 加藤たか子, 大迫俊二, 加藤幸雄：ラット下垂体前葉におけるケモカイン CXCL10 の発現, 第 106 回日本繁殖生物学会大会, 東京, 平成 25 年 9 月 12-14 日.
9. 八子英司, 堀口幸太郎, 樋口雅司, 藤原研, 吉田彩舟, 陳黙, 菅野尚子, 加藤たか子, 屋代隆, 加藤幸雄：ラット胎仔期下垂体に侵入する S100b-GFP 陽性細胞は血管形成に関与する, 第 106 回日本繁殖生物学会大会, 東京, 平成 25 年 9 月 12-14 日.
10. 堀口幸太郎, 吉田彩舟, 藤原研, 樋口雅司, 加藤たか子, 館野こずえ, 長谷川瑠美, 瀧上周, 大迫俊二, 屋代隆, 加藤幸雄：ラット下垂体前葉に存在する樹状細胞様 S100 タンパク陽性細胞の単離, 第 40 回日本神経内分泌学会学術集会, 宮崎, 平成 25 年 10 月 25 日.
11. 塚田岳大, 堀口幸太郎, 菊地元史, 屋代隆：ラット下垂体前葉における TGFβ2 の発現とその作用, 第 38 回日本比較内分泌学会大会, 宮崎, 平成 25 年 10 月 25 日.
12. 堀口幸太郎：下垂体前葉に存在する S100 タンパク陽性細胞の不均一性の探求, 明治大学生田研究知財ワークショップシンポジウム第 2 回生殖内分泌セミナー, 川崎, 平成 25 年 11 月 15 日.

論文

1. Horiguchi K, Syaidah R, Fujiwara K, Tsukada T, Ramadhani D, Jindatip D, Kikuchi M, Yashiro T: Expression of the cell-surface heparan sulfate proteoglycan syndecan-2 in developing rat anterior pituitary gland. Cell Tissue Res. 353:473-481, 2013.
2. Jindatip D, Fujiwara K, Horiguchi K, Tsukada T, Kouki T, Yashiro T: Changes in fine structure of pericytes and novel desmin-immunopositive perivascular cells during postnatal development in rat anterior pituitary gland. Anat Sci Int. 88:196-203, 2013.
3. Syaidah R, Horiguchi K, Fujiwara K, Tsukada T, Kikuchi M, Yashiro T: Laminin and collagen modulate expression of the small leucine-rich proteoglycan fibromodulin in rat anterior pituitary gland. Cell Tissue Res. 354:633-638, 2013.
4. Tsukada T, Kouki T, Fujiwara K, Dini Ramadhani, Horiguchi K, Kikuchi M, Yashiro T: Reassembly of anterior pituitary organization by hanging drop three-dimensional cell culture. Acta Histochem Cytochem. 46:121-127, 2013.

病理学研究室

口 演

1. 岡山香里, 大河戸光章, 熊谷朋子¹, 藪崎宏美¹, 椎名義雄¹, 藤井雅彦 (¹アイ・ラボ CytoSTD 研究所) : 圧排二核細胞におけるハイリスク型 HPV の証明と

SIL との関連性に関する研究. 第 54 回日本臨床細胞学会, 東京, 平成 25 年 6 月 1 日

2. 大河戸光章, 岡山香里, 大熊谷朋子¹, 藪崎宏美¹, 椎名義雄¹, 八田 賢明², 藤井雅彦¹ (アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ³ ジュノ・ヴェスタクリニック八田): HPV16 型の physical status と持続感染に関する縦断的研究. 第 54 回日本臨床細胞学会, 東京, 平成 25 年 6 月 1 日
3. Tsuyoshi Onogawa¹, Tatsuo Saito-Taki², Hiroshi Yamamoto¹, Takako Wada¹ (¹ Kyorin University Faculty of Health Sciences, ² Kitasato University School of Allied Health Sciences): IL6-trans signaling promotes functional recovery of hypofunctional phagocytes through STAT3 activation during peritonitis. 15th International Congress of Immunology Milan, Italy / August 22-27, 2013.
4. 大河戸光章, 岡山香里¹, 熊谷朋子², 藪崎宏美², 吉永陽樹³, 福井正³, 藤井雅彦¹ (東武医学技術専門学校, ² アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ³ フクイ産婦人科クリニック): HPV16 型持続感染と一過性感染症例におけるウイルス量に関する縦断的研究. 第 52 回日本臨床細胞学会, 大阪, 平成 25 年 11 月 2 日
5. 岡山香里¹, 大河戸光章, 熊谷朋子², 藪崎宏美², 吉永陽樹³, 福井正³, 藤井雅彦¹ (東武医学技術専門学校, ² アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ³ フクイ産婦人科クリニック): 圧排二核細胞の形態学的特徴. 第 52 回日本臨床細胞学会, 大阪, 平成 25 年 11 月 2 日
6. 岡山香里¹, 大河戸光章, 熊谷朋子¹, 藪崎宏美¹, 椎名義雄¹, 藤井雅彦¹ (アイ・ラボ CytoSTD 研究所): 圧排二核細胞出現検体におけるハイリスク型 HPV のウイルス量の定量. 日本性感染症学会第 26 回学術大会, 岐阜, 平成 25 年 11 月 16 日
7. 椎名義雄¹, 熊谷朋子¹, 藪崎宏美¹, 岡山香里¹, 大河戸光章¹ (アイ・ラボ CytoSTD 研究所): 自己採取法における細胞診およびハイリスク型 HPV 検査併用の意義. 日本性感染症学会第 26 回学術大会, 岐阜, 平成 25 年 11 月 16 日

原 著

1. 岡山香里, 大河戸光章, 熊谷朋子¹, 藪崎宏美¹, 吉永陽樹², 福井正², 藤井雅彦¹ (アイ・ラボ CytoSTD 研究所, ² フクイ産婦人科クリニック): HPV 感染を疑う細胞所見の再検討 HPV-DNA 存在の有無. 日本臨床細胞学会雑誌 52: 224-230, 2013
2. 大河戸光章: Human papillomavirus (HPV) 16 型の physical status と持続感染に関する縦断的研究. 杏林医学会雑誌 43: 93-105, 2013
3. Onogawa Tsuyoshi, Taki-Saito Tatsuro, Yamamoto Hiroshi, Wada Takako: IL6 trans-signaling promotes functional recovery of hypofunctional phagocytes through STAT3 activation during peritonitis. Inflammation Research. Vol.6 2: 797-810, 2013.

臨床血液学研究室

口 演

1. 東克巳, 西村伸大, 関根名里子: 血液検査学における臨床検査技師の卒前・卒後教育－技師教育施設における血液検査学教育－. 第 14 回日本臨床検査学教育学会学術大会, 東京, 平成 25 年 7 月 27 日 -28 日.
2. 東克巳: 「認定技師の現在と未来」日本検査血液学会と認定血液検査技師. 第 8 回日本検査血液学会学術集会, 大阪, 平成 25 年 8 月 26 日 -28 日.
3. 武藤祐子¹, 富田知子², 西村伸大¹ (大阪樟蔭女子大・学芸, ² 山野美容芸術短大): 美容室におけるリラクセス効果の研究. -アミラーゼ測定, アンケート調査による検討-. 第 72 回日本公衆衛生学会, 三重, 平成 25 年 10 月 23 日 -25 日.
4. 浦本貴弘, 新井翔子, 石井なつみ, 石塚紗里, 榎由紀子, 菊池惟伽, 佐藤亜希子: RGB 解析による血液塗抹標本の客観的評価 -ギムザ希釈液の pH の違いによる染色性の実験的検討-. 第 2 回日臨技首都圏支部 医学検査学会, 東京, 平成 25 年 10 月 26 日 -27 日.
5. 西村伸大: いちよう塾「アロマセラピー基礎講座～エッセンシャルオイルを用いたリラクゼーション～」. 八王子, H25 年 6 月 29 日 / 7 月 6 日 / 7 月 13 日 (第 1 回)・H25 年 7 月 20 日 / 7 月 27 日 / 8 月 3 日 (第 2 回).

生理機能検査学研究室

口 演

1. 三谷博子, 石山陽事¹ (¹ 虎の門病院): 眠気による意識水準低下防止のための冷氣刺激による効果—眼鏡型居眠り検出用電極を用いて—. 第 24 回日本臨床モニター学会, 奈良, 平成 25 年 4 月 19 - 20 日.
2. 三輪 隆¹, 朝長 修², 久米雅彦³, 秋本孝行³, 原島敬一郎, 大塚正人⁴, 井口利樹⁵, 北田浩一⁶, 大堀英二⁷, 強口 博⁸, 桜井かほり⁹, 實重真吾¹⁰, 多村幸之進¹¹, 井上雅寛¹², 山口慶子¹³, 志熊淳平¹, 小林高明¹, 伊藤裕郎¹, 添田 仁¹⁴, 小田原雅人¹ (¹ 東京医科大学, ² ともながクリニック, ³ 新都心十二社クリニック, ⁴ おおつかクリニック, ⁵ いのくち内科クリニック, ⁶ 北田医院, ⁷ 大堀医院, ⁸ こわぐち内科, ⁹ 和光診療所, ¹⁰ 上落合真クリニック, ¹¹ たむらクリニック, ¹² 三井ビルクリニック, ¹³ 山口内科耳鼻科, ¹⁴ 東京都総合組合保健施設振興協会多摩健康管理センター): 2 型糖尿病患者に対する DPP-4 阻害薬ビルダグリプチンの膵 β 細胞保護作用の検討 (第 2 報). 第 56 回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本, 平成 25 年 5 月 16 - 18 日.
3. 佐野晃士¹, 三輪隆¹, 小池朋弘¹, 藤原真梨子¹, 佐々木順子¹, 簡健志¹, 加藤大輔¹, 平瀬繁男¹, 原島敬一郎, 小田原雅人¹ (¹ 東京医科大学): インスリン抵抗性合併高コレステロール血症患者におけるエゼチミブ投与の有用性 (第 2 報). 第 56 回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本, 平成 25 年 5 月 16 - 18 日.

4. 司茂幸英, 原島敬一郎, 太田菜月, 佐藤祐希: 踏み台昇降試験法をとりいれたマスター二階段負荷試験変法の考案 運動強度 (METs) および心拍数による検討. 第 62 回日本医学検査学会, 香川, 平成 25 年 5 月 18-19 日.
5. 原島敬一郎 話題提供 ASI (Arterial Stiffness Index) で血管の硬さを評価する. 第 53 回脈波・加速度脈波研究会, 東京, 平成 25 年 6 月 1 日.
6. 神谷具巳¹, 渡辺圭一^{2,3}, 原島敬一郎, 林潤一⁴, 石田信彦^{1,2} (¹和風会多摩リハビリテーション病院, ²和風会多摩リハビリテーション学院, ³所沢中央病院, ⁴杏林大学医学部総合医療学): 高血圧患者における運動介入 Arterial Stiffness に及ぼす影響. 第 38 回日本運動療学会, 大分, 平成 25 年 6 月 22 日.
7. 佐藤秀昭¹, 菊池高子¹, 中村美喜¹, 望月淳子¹, 刑部東治¹, 永見明生¹, 岩堀公基¹, 原島敬一郎, 林潤一², 山本実², (¹JA 東京健康管理センター厚生連クリニック, ²杏林大学医学部総合医療学): ピロリ菌除菌者におけるアンケート調査 (第三報). 第 54 回日本人間ドック学会学術大会, 静岡, 平成 25 年 8 月 29 - 30 日.
8. 三谷博子, 石山陽事¹ (¹虎の門病院): 努力性吸気刺激による交感神経皮膚反応 (SSR) を用いた閉塞性睡眠時見呼吸 (OSAS) の検討と呼吸パラメータの検討. 第 43 回日本臨床神経生理学学会, 高知, 平成 25 年 11 月 7 - 9 日.
9. 芝崎翔平, 稲見麻耶, 飯島悠介, 古溝里穂, 宮川直輝, 司茂幸英, 原島敬一郎, 三谷博子: API (arterial pressure volume index) の測定回数における妥当性に関する検討. 第 13 回日本 AS 学会・第 7 回日本血流血管学会 合同学術集会, 東京, 平成 25 年 11 月 30 日.
10. 神谷具巳¹, 渡辺圭一^{2,3}, 原島敬一郎, 林潤一⁴, 石田信彦^{1,2} (¹和風会多摩リハビリテーション病院, ²和風会多摩リハビリテーション学院, ³所沢中央病院検査科, ⁴杏林大学医学部総合医療学): 高血圧患者における短期の運動介入が Arterial Stiffness に及ぼす影響. 第 13 回日本 AS 学会・第 7 回日本血流血管学会 合同学術集会, 東京, 平成 25 年 11 月 30 日.
11. 中村美喜¹, 佐藤秀明¹, 菊池高子¹, 原島敬一郎, (¹JA 東京健康管理センター): 当院ドックにおける超音波検査にて認めた脾嚢胞性病変の検討. 日本総合健診医学会 第 42 回大会, 東京, 平成 26 年 1 月 31 日 - 2 月 1 日.
12. 原島敬一郎, 芝崎翔平, 稲見麻耶, 飯島悠介, 古溝里穂, 宮川直輝, 司茂幸英, 三谷博子: API (arterial pressure volume index) の測定回数と値の関係について. 第 6 回ヘルシエイジング学会学術集会, 東京, 平成 26 年 2 月 22 日.

著書

1. 三谷博子: VI - 3 感覚系, VII - 2 運動神経・骨格筋の解剖と筋収縮のメカニズム. 疾患への理解を深める病態生理学. 副島昭典, 小池秀海編著. 東京, 東京医学社, 2013. P.242-253, p.280-284.

2. 黒岩義之, 三谷博子: No. 29. 長ループ反射, No. 30. 交感神経皮膚反応. モニグラフ 脳機能計測法を基礎から学ぶ人のために. 日本臨床神経生理学学会 認定委員会編. 東京. 一般財団法人学会誌刊行センター. 2013. p.222 - 235.

免疫学研究室

口演

1. 田口晴彦: 感染症学の基礎知識と *Clostridium difficile* 感染症について, ミヤリサン製薬講演会, 東京, 平成 25 年 4 月 11 日.
2. 蔵田訓¹, 大崎敬子¹, 田口晴彦, 神谷茂¹ (¹杏林大学医学部感染症学講座): *Mycoplasma pneumoniae* 抗原感作が CD4⁺CD62L⁺T 細胞分化に及ぼす影響, 第 87 回日本感染症学会学術集会, 横浜, 平成 25 年 6 月 5 日.
3. 田口晴彦: プロバイオティクスによる感染対策, 第 27 回 Bacterial Adherence & Biofilm 学術集会, 東京, 平成 25 年 7 月 12 日.
4. 和田薫子¹, 高橋志達¹, 岡健太郎¹, 田口晴彦, 稲松考思², 神谷茂³ (¹ミヤリサン製薬研究所, ²東京都健康長寿医療センター, ³杏林大学医学部感染症学講座): 本邦における *Clostridium perfringens* の毒素遺伝子保有状況の検討, 第 16 回日本臨床腸内微生物学会総会・学術集会, 広島, 平成 25 年 8 月 31 日.
5. 渡邊秀裕¹, 蔵田訓², 宇留間友宣¹, 田崎敬¹, 田口晴彦, 神谷茂² (¹東海大学医学部付属八王子病院, ²杏林大学医学部感染症学講座): マクロライド耐性肺炎マイコプラズマ感染症の治療-内科医の立場から, 第 62 回日本感染症学会東日本地方学術集会 第 60 回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会, 東京, 平成 25 年 10 月 31 日.
6. ARAE Ken, TAGUCHI Haruhiko, MATSUMOTO Kenji¹, NAKAE Susumu² (¹国立成育医療研究センター研究所, ²東京大学医科学研究所): Chitin-mediated IL-33 induces breakdown of immune tolerance by promoting IL-1 β production from DCs, causing aggravation of murine asthma, 第 42 回日本免疫学会学術集会. 千葉. 平成 25 年 12 月 11 日~13 日.

論文

1. Nakae S^{1,2}, Morita H³, Ohno T⁴, Arae K³, Matsumoto K³ and Saito H³ (¹The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, ³National Research Institute for Child Health & Development, ⁴Tokyo Medical and Dental University, and ²Precursory Research for Embryonic Science and Technology (PRESTO)): Role of interleukin-33 in innate-type immune cells in allergy. Allergol Int 62(1):13-20, 2013
2. Morita H¹, Unno H^{1,2}, Arae K¹, Ohno T³, Saito H¹, Matsumoto K¹ and Nakae S^{4,5} (¹National Research Institute for Child Health and Development, ²Jikei University School of Medicine, ³Tokyo Medical and

Dental University, ⁴The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, ⁵JST, PRESTO) : Role of IL-25 and IL-33 in allergic diseases. Jpn. J. Allergol., 62 (8): 924-935, 2013

- 海野浩寿^{1,2}, 森田英明², 新江賢², 大野建州³, 斎藤博久², 松本健治², 中江進^{4,5} (¹慈恵医科大学, ²国立成育医療研究センター研究所, ³東京医科歯科大学, ⁴東京大学医科学研究所, ⁵PREST) : 細胞死によるアレルギー疾患への影響 —IL-33, HMGB-1などのDAMPsによる免疫応答, 実験医学増刊31(17) : 2791-2799, 2013

その他

- 田口晴彦: 第47回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会学術集会主催, 東京, 平成26年1月31日 - 2月1日.

臨床微生物学研究室

著書

- 森田耕司: 微生物検査学. 臨床検査技師グリーン・ノート臨床編 2nd edition. 芝紀代子編, 東京, メジカルビュー社, 2013. p.178-195.
- 森田耕司: *Salmonella enterica*. ウイルス・細菌・真菌・寄生虫同定便覧 技術情報協会編, 東京, 技術情報協会, 2014. p.234-237.

臨床検査学研究室

口演

- 関澤浩一¹, 加藤誠久², 田村高志, 黒沢健司³, 田辺秀之⁴, 島幸夫¹, 岸邦和⁵ (¹杏林大・保・臨床検査教育学, ²杏林大・保・公衆衛生, ³神奈川県立こども医療センター・遺伝科, ⁴総合研究大学院大学・先端科学研究科, ⁵杏林大・保) : 染色体検査教育のための異常核型記載学習ソフトウェア. 第8回日本臨床検査学教育学会, 大阪, 平成25年8月26-28日.
- 関澤浩一¹, 加藤誠久², 田村高志, 関健介³, 島幸夫¹, 黒沢健司⁴, 田辺秀之⁵, 岸邦和⁶ (¹杏林大・保・臨床検査教育学, ²杏林大・保・公衆衛生, ³杏林大・保・放射線安全管理学, ⁴神奈川県立こども医療センター・遺伝科, ⁵総合研究大学院大学・先端科学研究科, ⁶杏林大・保) : ヒト核型記載に必要な記号や短縮用語を学習するためのソフトウェア開発. 染色体学会第64回年会, 富山, 平成25年11月8-10日.
- 坂内久一, 菰田照子: 性器クラミジア感染症に続く上向性感染の活動指標の検索. 第20回日本未病システム学会学術総会, 東京, 平成25年11月9-10日.
- 関澤浩一¹, 加藤誠久², 田村高志, 関健介³, 島幸夫¹, 黒沢健司⁴, 田辺秀之⁵, 岸邦和⁶ (¹杏林大・保・臨床検査健康教育学, ²杏林大・保・公衆衛生, ³杏林大・保・放射線安全管理学, ⁴神奈川県立こども医療センター・遺伝科, ⁵総合研究大学院大学・先端科学研究科, ⁶杏林大・保) : ヒト核型の国際命名規約を学ぶためのソフトウェア開発. 日本人類遺

伝学会第58回大会, 仙台, 平成25年11月21-23日.

細胞診断学研究室

口演

- 郡秀一: 婦人科. 平成25年度石川県細胞診従事者研修会, 石川, 平成25年8月25日.
- 郡秀一: 病理細胞診セミナー I 子宮頸部細胞診における誤判定を防ぐために. 第52回日本臨床細胞学会秋期大会, 大阪, 平成25年11月2日.

臨床検査教育学研究室

口演

- Tsuyoshi Onogawa, Tatsuo Saito-Taki¹, Hiroshi Yamamoto², Takako Wada³ (¹Kitasato Univ, ²Pathol, Kyorin Univ, ³Paramedic, Kyorin Univ): IL6 *trans*-signaling promotes functional recovery of hypofunctional phagocytes through STAT3 activation during sepsis. 15th International Congress of Immunology, Italy, Aug. 23, 2013.
- Tatsuo Saito-Taki¹, Tsuyoshi Onogawa, Hidero Kitasato¹ (¹Kitasato Univ): Protection from severe bacterial infection by injections of cytokine-gene transfected cells. 15th International Congress of Immunology, Italy, Aug. 24, 2013.
- 関澤浩一, 加藤誠久¹, 田村高志², 黒澤健司³, 田辺秀之⁴, 島幸夫, 岸邦和: (¹杏林大・保・公衆衛生学, ²杏林大・保・臨床検査学, ³神奈川県立こども医療センター・遺伝科, ⁴総合研究大学院大学・先端科学研究科) : 染色体検査教育のための異常核型記載学習ソフトウェア. 第8回日本臨床検査学教育学会学術集会, 大阪, 2013年8月26-28日
- 島幸夫: 生化学実習を意義あるものに - 6. 第8回日本臨床検査学教育学会学術大会, 大阪, 平成25年8月26日 - 28日
- Hiraoka A¹, Kondo H² & Sekizawa K: (¹Department of Health Education, Faculty of Health Sciences, Kyorin Univ, ²Bioresearch Incorporated) : Effects of mono-, di- and triethanolamine salts of palmitic acid on the proliferation and melanogenesis of cultured melanoma cells. 第86回日本生化学会大会, 横浜, 2013年9月11-13日.
- 平岡厚¹, 関澤浩一, 近藤浩文²: (¹杏林大・保・健康教育学, ²株式会社・バイオリサーチ) : アリールスルフィン酸塩によるチロシナーゼ反応の修飾とその応用について. 酵素工学会 第70回講演会, 東京, 2013年10月25日.
- Sekizawa K, Kato T¹, Tamura T², Seki K³, Shima Y, Kurosawa K⁴, Tanabe H⁵ & Kishi K: (¹Department of Public Health, Faculty of Health Sciences, Kyorin Univ, ²Department of Medical Technology, Faculty of Health Sciences, Kyorin Univ, ³Department of Environmental Health, Faculty of Health Sciences, Kyorin Univ,

⁴Division of Medical Genetics, Kanagawa Children's Medical Center, ⁵Department of Evolutionary Studies of Biosystems, School of Advanced Studies, The Graduate University for Advanced Studies (Sokendai)): A software program for learning symbols and abbreviations used in karyotype description. 第64回年会 染色体学会, 富山, 2013年11月8日-10日.

8. 島幸夫, 貴家康尋¹ (¹ 株式会社ビーアンドエス・コーポレーション): 乳酸菌生成エキス飲用による腸内細菌叢変動のパイロット解析. 第20回日本未病システム学会学術総会, 東京, 平成25年11月9-10日
9. 関澤浩一, 加藤誠久¹, 田村高志², 関健介³, 島幸夫, 黒澤健司⁴, 田辺秀之⁵, 岸邦和: (¹ 杏林大・保・公衆衛生学, ² 杏林大・保・臨床検査学, ³ 杏林大・保・環境保健学, ⁴ 神奈川県立こども医療センター・遺伝科, ⁵ 総合研究大学院大学・先端科学研究科): ヒト核型の国際命名規約を学習するためのソフトウェア開発. 第58回日本人類遺伝学会大会, 仙台, 2013年11月21-23日.
10. 佐藤玄¹, 島幸夫, 松田宗男¹ (¹ 杏林大医学部・生物): アナスショウジョウバエ雄交叉もDNA2重鎖切断モデルが適用されるのか?. 第36回日本分子生物学会年会, 神戸, 平成25年12月3-6日
11. 島幸夫, 太田史暁¹, 萩原摩里², 小林悦子², 牛木勝², 齋藤雅人², 前田眞治³ (¹ 水素健康医学ラボ, ² クラシエホームプロダクツ株式会社, ³ 国際医療福祉大学大学院リハビリテーション学): 水素化マグネシウムを用いた水素入浴の効果について. 第4回分子水素医学シンポジウム, 東京, 平成26年2月1-2日

論文

1. Tsuyoshi Onogawa, Tatsuo Saito-Taki¹, Hiroshi Yamamoto², Takako Wada³ (¹ Kitasato Univ, ² Pathol, ³ Paramedic, Kyorin Univ): IL6 trans-signaling promotes functional recovery of hypofunctional phagocytes through STAT3 activation during sepsis. *Inflamm Res* 62: 797-810, 2013.

著書

1. 島幸夫: 「若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 3 臨床生物化学分析検査」 臨床化学検査 2 電解質検査, 5 糖代謝検査, 7 血清酵素検査 (AST, ALT, LD, CK), 10 血中薬物濃度. 山内一由編集, 東京, 株式会社メジカルビュー社, 2013年12月. p48-60, p86-99, p118-127, p163-165.
2. 島幸夫: 「メディカルサイエンス 臨床化学検査学 - 病態生化学の視点から」 病態生化学編 I 生命現象の生化学 - 生命現象の分子基盤 2 物質の流れ 4. アミノ酸代謝. 臨床化学検査学編 IV 人体の臨床化学検査の実際 - 生体分子の分析各論 4 酵素. 7. γ -グルタミルトランスフェラーゼ (γ -GT), 8. コリンエステラーゼ (ChE). 太田敏子, 川上康, 下村弘治, 寺平良治, 三村邦裕編集, 東京, 近代出版, 2014年1月. p20-24, p274-281.

環境保健学研究室

口演

1. 松塚雅博, 伊豆田誠史, 石川友美, 関健介, 後藤恭一, 金子哲也: 降水の溶存化学物質から見た八王子の大気環境Ⅱ 環境科学会 2013 年会 平成 25 年 9 月 4 日 静岡.
2. 関健介, 後藤恭一, 松塚雅博, 金子哲也: 学校水泳プールにおける過マンガン酸カリウム消費量簡易測定に関する基礎調査 第 72 回日本公衆衛生学会 平成 25 年 10 月 24 日, 三重.
3. 後藤恭一, 関健介, 松塚雅博, 金子哲也: 航空機騒音による心身影響に関する検討, 第 73 回日本公衆衛生学会, 平成 25 年 10 月 25 日, 三重.
4. 松塚雅博, 関健介, 伊豆田誠史, 石川友美, 金子哲也: 最終処分場近隣の井戸水における水質変化 第 78 回日本民族衛生学会総会, 平成 25 年 11 月 16 日, 佐賀.
5. 荻津真理子, 井出元美奈子, 尾崎博美: 日々の救急措置を省察することで得られた養護の視点 第 2 報 - プロセスレコードによる中学校事例 -, 日本学校救急看護学会 第 8 回学術集会, 平成 25 年 12 月 14 日, 東京.

論文

1. 大谷尚子, 荻津真理, 豊岡美智子, 鈴木みゆき: 大学における授業と臨地体験の統合化 - 養護実習生が『これだけは実習で学んだ』こと -, 聖母大学紀要, 10, 63-71, 2014.
2. 後藤恭一, 金子哲也: コレスポンデンス分析を応用した空港周辺住民の益・不利益からなる空港総合評価の試み 航空環境研究 18, 35-43, 2014.
3. 荻津真理子, 砂村京子, 竹村佳那子: 日々の救急処置を省察することで得られた養護の視点 (第 2 報): プロセスレコードによる事例検討 学校救急看護研究, 7(1), 36-46, 2014.

著書

1. 大谷尚子, 五十嵐徹, 砂村京子, 荻津真理子 (共同編著): 養護教諭のためのフィジカルアセスメント 2: 教職員と見て学ぶ救命救急の基礎基本 AED・エビペン?・頭部打撲. 東京, 日本小児医事出版社 2013.

その他

1. 金子哲也, 後藤恭一: 騒音の心臓疾患リスクをめぐる思潮. 航空環境研究, 18, 67-71, 2014.
2. 金子哲也: Health Watch No.34 PM2.5 と黄砂. 航空と環境, 69, 57-61, 2013.
3. 金子哲也: Health Watch No.35 "がんもどき" のはなし. 航空と環境, 70, 51-55, 2014.

公衆衛生学研究室

口演

1. 岡本博照, 細田武伸, 和田貴子, 松井知子, 上村隆元, 照屋浩司, 角田透: 管理職消防官の職業性ストレスについて. 第 86 回日本産業衛生学会, 松山, 平成

- 25 年 5 月 14-17 日.
2. 長谷川めぐみ, 津田和加子: 災害時に備える「ダイエット・トリアージ・システム」の提案. 第 67 回日本栄養・食糧学会大会, 名古屋, 2013 年 5 月 24-26 日.
3. 長谷川めぐみ: 大学生の食行動, 食態度, 食知識をふまえた「大学生版食事バランスガイド」作成のころみ. 第 22 回日本健康教育学会, 千葉, 2013 年 6 月 22-23 日.
4. 久保祐美子, 久米梢子, 神山麻由子, 岡本博照, 山口芳裕, 松田剛明, 照屋浩司, 和田貴子: 二次救急患者の入院に係る地理的要因の影響. 第 16 回日本臨床救急医学会総会, 東京, 平成 25 年 7 月 12-13 日.
5. 関澤浩一, 加藤誠久, 田村高志, 黒澤健司, 田辺秀之, 島幸夫, 岸邦和: 染色体検査教育のための異常核型記載学習ソフトウェア. 第 8 回日本臨床検査学教育学会学術集会, 大阪, 2013 年 8 月 26-27 日.
6. Megumi Hasegawa and Imtiaz K. Ahmad: Comparison of Ideal Diet based upon the Drawing Method in Japan and in the Kingdom of Saudi Arabia. International Congress of Nutrition, Granada, Spain, Sept.15-20.
7. Mika Shirao, Megumi Hasegawa and Yutaka Inaba: The effects of food preferences on bone mineral density and occlusal force in young women. International Congress of Nutrition, Granada, Sept.15-20.
8. 岡本博照, 照屋浩司: M 市運動相談事業データからみた中高年住民の循環器機能 脳性ナトリウム利尿ペプチド (BNP) からの検討. 第 27 回日本臨床内科医学会, 神戸, 平成 25 年 10 月 13-14 日.
9. 楠田美奈, 岩見文博, 片桐朝美, 太田ひろみ, 石野晶子, 大嶺智子, 加藤英世, 照屋浩司: 幼児・児童を対象とした音響的骨評価値の標準域設定に関する研究. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 津, 平成 25 年 10 月 23-25 日.
10. 太田ひろみ, 照屋浩司, 片桐朝美, 大木幸子: 地域在住高齢者の個人レベルのソーシャル・キャピタルの 3 年間の変化と抑うつとの関連. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 津, 平成 25 年 10 月 23-25 日.
11. 長谷川めぐみ, 高橋千佳子: 女子大学生における手洗い行動に対する意識と態度「手洗い行動変容喚起ポスター」の効果に関する一考察. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 三重, 2013 年 10 月 23-25 日.
12. Megumi Hasegawa and Imtiaz K. Ahmad: Comparison of Ideal Diet based upon the Drawing Method in Japan and in the Kingdom of Saudi Arabia. 第 28 回国際保健医療学会, 名護, 2013 年 11 月 2-4 日.
13. Sekizawa K, Kato T, Tamura T, Seki K, Shima Y, Kurosawa K, Tanabe H & Kishi K: A software program for learning symbols and abbreviations used in karyotype description. 第 64 回年会染色体学会, 富山, 2013 年 11 月 8-10 日.
14. 長谷川めぐみ, 津田和加子: 「食事バランスガイド」を用いた食育の試みー大学生における食事調査を

事例としてー, 第 60 回日本学校保健学会, 東京, 2013 年 11 月 15-16 日.

15. 関澤浩一, 加藤誠久, 田村高志, 関健介, 島幸夫, 黒澤健司, 田辺秀之, 岸邦和: ヒト核型の国際命名規約を学習するためのソフトウェア開発. 日本人類遺伝学会第 58 回大会, 仙台, 2013 年 11 月 21-23 日.

論文

1. Ota H, Teruya K, Katagiri T, Oki S: The relationship between changes in social network status and depression among community-dwelling elderly: Journal of The Kyorin Medical Society 44(2):53-63, 2013.
2. Okamoto H, Hosoda T, Wada T, Teruya K, Tsunoda T: Work conditions and fatigue symptoms among Japanese male emergency medical technicians (EMTs). Journal of the Kyorin Medical Society 44: 127-136, 2013.
3. 長谷川めぐみ, 津田和加子: 「ダイエット・トリアージカード」の提案ー大学生を対象とした災害時食生態調査からの検討ー. 杏林大学研究報告, 31, 9-20, 2014

著書

1. 照屋浩司: II - II -3. 身体活動, 運動. In: エッセンシャル社会・環境と健康第 2 版第 5 刷. 高島豊・櫻井裕編, 東京, 医歯薬出版, 2014, p.114-118.
2. 照屋浩司: II - II -4. 喫煙行動. In: エッセンシャル社会・環境と健康第 2 版第 5 刷. 高島豊・櫻井裕編, 東京, 医歯薬出版, 2014, p.118-125.

心理学・社会福祉学研究室

口演

1. 楠田美奈, 岩見文博, 片桐朝美, 太田ひろみ, 石野晶子, 大嶺智子, 加藤英世, 照屋浩司: 幼児・児童を対象とした音響的骨評価値の標準域設定に関する研究. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 三重, 平成 24 年 10 月 23-25 日.
2. 太田ひろみ, 照屋浩司, 片桐朝美, 大木幸子: 地域在住高齢者の個人レベルのソーシャル・キャピタルの 3 年間の変化と抑うつとの関連. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 津, 平成 24 年 10 月 23-25 日.
3. 下島裕美: 日本版 Transcendental-future time perspective scale 因子構造の検討. パーソナリティ心理学会第 22 回大会, 流山, 平成 24 年 10 月 12-13 日.

論文

1. Ota H, Teruya K, Katagiri T, Oki S: The relationship between changes in social network status and depression among community-dwelling elderly: Journal of The Kyorin Medical Society 44(2):53-63, 2013.
2. 下島裕美: 死という未来を展望するために必要なものは何かー自伝的記憶とエンディングノートー. 杏林大学研究報告教養部門 31: 53-58, 2014.

著書

1. 井上敦: 高齢者分野の「地域包括ケアシステム」を参考に. 医療なくして子育てできずー地域医療と少子化対策ー. 千葉県地方自治研究センター編集. 東

京, 書籍工房早山, 2013. p.227-234

健康教育学研究室

□ 演

1. 松井知子：メンタルヘルス（社内研修の進め方）～セルフケア～. 東京産業保健推進センター研修会(人事・労務・衛生管理者研修), 東京, 平成 25 年 4 月 8 日.
2. 松井知子, 松岡由樹子：ストレスの基礎理解とストレスマネジメント（リラクセーション）. 練馬区教育委員会初任者研修会, 東京, 平成 25 年 4 月 12 日.
3. 松井知子：教職員のメンタルヘルス 事例対応における留意点. 瑞穂町教育委員会副校長セミナー, 東京, 平成 25 年 5 月 23 日.
4. Miura Y, Ichikawa K, Yuasa M, Tsunoda T & Matsui T: Measuring Workplace Outcomes in EAPs using the checklist of work functions(PAF). Asia Pacific Employee Assistance Roundtable, Tokyo, May 30 ~ Jun 1, Tokyo, 2013.(発表：6/1)
5. 松井知子：メンタルヘルス（社内研修の進め方）～セルフケア～. 東京産業保健推進センター研修会(人事・労務・衛生管理者研修), 東京, 平成 25 年 7 月 8 日.
6. 朝野聡：薬物乱用防止教育について, 山梨県富士河口湖畔教育協議会保健研究部会研修会, 山梨, 平成 25 年 7 月 30 日
7. 松井知子：精神保健講習会『快適な職場づくり』を考えよう～安全管理者等のメンタルヘルスカ対策～. 東京都教育委員会, 東京, 平成 25 年 8 月 19 日.
8. 松井知子：産業心理臨床のイロハ 企業のニーズと心理職の役割, メンタルヘルスの体制づくり 主にラインケア. 栃木県臨床心理士会研修セミナー, 平成 25 年 9 月 29 日.
9. 松井知子：メンタルヘルス（社内研修の進め方）～セルフケア～. 東京産業保健推進センター研修会(保健師・看護師研修, 人事・労務・衛生管理者研修), 東京, 平成 25 年 10 月 15 日.
10. 櫻田淳, 北口和美, 大嶺智子, 大原榮子, 加納亜紀：養成大学における養護教諭初任者支援研修プログラム開発. 平成 25 年度（第 21 回）日本養護教諭教育学会, 神戸, 平成 25 年 10 月 12-13 日. (発表：10/13)
11. 角田透, 飯島美世子, 斎藤照代, 炭山隆, 錦戸典子, 松井知子, 森崎美奈子, 山田智子, 野田一雄：現場ニーズに基づいた事業所担当者のためのメンタルヘルス対策支援ツールの開発. 平成 25 年度(第 18 回) 産業保健調査研究発表会, 川崎, 平成 25 年 10 月 17-18 日. (発表：10/17)
12. 楠田美奈, 岩見文博, 片桐朝美, 太田ひろみ, 石野晶子, 大嶺智子, 加藤英世, 照屋浩司：幼児・児童を対象とした音響的骨評価値の標準域設定に関する研究. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 津, 平成 25 年 10 月 23-25 日. (発表：10/23)

13. 松井知子, 松浦真澄：事例検討 職場復帰支援を考える. 日本臨床心理士会第 7 回研修会, 平成 25 年 10 月 25 日.
14. 松井知子, 角田透, 他：産業保健スタッフ養成のためのメンタルヘルス教育プログラムの開発及び検証. 第 72 回全国産業安全衛生大会, 大阪, 平成 25 年 10 月 30 ~ 11 月 1 日. (発表：11/1)
15. 松井知子, 角田透：産業領域におけるメンタルヘルス支援の向上に関する一研究－看護職・心理職等を対象とした実態調査から－. 第 78 回日本民族衛生学会総会, 佐賀, 平成 25 年 11 月 15-16 日. (発表：11/16)
16. 朝野聡：芝生とヘルスプロモーション, 日本芝草学会校庭芝生部会アマチュア芝生管理教室, 2013
17. 堀川浩之・朝野聡・他：大学における地元と協力した安価なグラウンド芝生化の試み 日本ウェルネス学会, Vol.10, pp33, 2013
18. 新井健一・朝野聡・他：グラウンドサーフェイスの違いによる POMS および唾液アミラーゼの変化, 日本ウェルネス学会 Vol.10, pp34, 2013
19. 石丸由理, 朝野聡, 他：富士河口湖町未来を担う子供を育てるリトミックの取り組み II, 国際幼児教育学会第 34 回大会発表論文集, 115-116, 2013
20. 朝野聡：心と身体「芝生が与える効果・影響」, 日本芝草学会公開シンポジウム「体育・スポーツからみた芝生」, 国立霞ヶ丘競技場大会議室, 2013
21. 松井知子：「新・職場のストレスチェックの活用方法」厚労省によるストレスチェックの説明と組織結果の職場組織への活用方法. 東京経営者協会, 東京, 平成 26 年 1 月 29 日.
22. 松井知子：メンタルヘルス活動に活かす面接指導技術・面接演習. 神奈川労務安全衛生協会平塚支部, 平塚, 平成 26 年 2 月 6 日.
23. 松井知子：メンタルヘルス研修（ストレスの基礎理解とストレスマネジメント）. 至誠学舎東京 研修センター, 東京, 平成 26 年 3 月 5 日.

論文

1. 物部博文, 永井真樹, 小林優子, 山田浩平, 朝野聡：大学生の危険行動と二次元方略に基づくセルフ・コントロールとの関係, 横浜国立大学教育人間科学部紀要 . II, 人文科学 15, 45-57, 2013
2. 松井知子：職場のメンタルヘルス－キャリアアカウンセリング－, 産業ストレス研究 20(4):385-388, 2013
3. 平岡厚：ある少女タレントの twitter 周辺における「両極現象」の発生と, その社会的背景について. 杏林大学研究報告教養部門 31, 59-73, 2014.

著書

1. パーシヴァル・ローエル（著）, 平岡厚, 上村和也（訳）：神々への道－米国人天文学者の見た神秘の国・日本, 国書刊行会, 2013.
2. 松井知子：II - II - 7. 歯科保健行動. : エッセンシャル社会・環境と健康第 2 版第 5 刷. 高島豊・櫻井裕編, 東京, 医歯薬出版, 2014, p.132-136.
3. 大嶺智子, 荒木田美香子：第 3 章 子どもの発達と

健康：公衆衛生看護学テキスト 公衆衛生看護活動Ⅱ 学校保健・産業保健 第1版第1刷. 荒木田美香子編, 東京, 医歯薬出版, 2014, p.23-33.

特許等知的財産関係 報告書

1. 角田透, 松井知子他：平成24年度産業保健調査研究報告書 現場ニーズに基づいた事業所担当者のためのメンタルヘルス対策支援ツールの開発, 東京産業保健推進センター, 平成25年3月.

その他

1. 朝野聡：スポーツを考える「芝生化を社会変革に」, 毎日新聞9,13, 2013.

生理学研究室

口 演

1. Ito S, Koizume S, Sakuma Y, Yamada R, Ruf W, Takano Y, Miyagi Y: Aberrant expression of TFPI-1 associated with low procoagulant activity of liver cancer cells. American Association for Cancer Research Annual Meeting, Washington, DC, April. 6-10, 2013.
2. Takagi K, Tanaka K, Ito S and Kurokawa M: An anatomical and electrophysiological study of neural control of rectum in the penaeid shrimp, *Maruspenaeus japonicus* The 35th Annual Meeting of The Japanese Society for Comparative Physiology and Biochemistry, Himeji, July. 13-15, 2013.
3. Ito S, Koizume S, Yoshihara M, Nakamura Y, Miyagi E, Hirahara F, Takano Y, Miyagi Y: Characteristics of tissue-factor bearing microparticles secreted from ovarian cancer cells The 72nd Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, Yokohama, Oct. 3-5, 2013.
4. Koizume S, Shin Ito S, Yoshihara M, Nakamura Y, Miyagi E, Hirahara F, Takano Y, Miyagi Y: Inhibition of synergistic ICAM1 induction suppresses growth of ovarian clear cell carcinoma The 72nd Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, Yokohama, Oct. 3-5, 2013.

論 文

1. 伊井美咲紀, 堂元詩織, 伊藤慎, 田中浩輔：オカダンゴムシ (*Armadillidium vulgare*) の交替性転向反応に関する研究 杏林医学会誌 (in press).
2. 田中浩輔, 高木賢治, 伊藤慎, 黒川信：甲殻類十脚目クルマエビ類の直腸の神経支配. 杏林大学研究報告, 教養部門, 第31巻.

救急救命学研究室

口 演

1. 久保祐美子, 久米梢子, 神山麻由子, 岡本博照, 山口芳裕, 松田剛明, 照屋浩司, 和田貴子：二次救急患者の入院に係る地理的要因の影響. 第16回日本臨床救急医学会総会, 東京, 平成25年7月12日. (口演).
2. 久米梢子, 久保祐美子, 神山麻由子, 岡本博照, 和

田貴子：救急救命士の資格を地域社会で活用する方策・二次救急病院に勤務する救急救命士に対する評価 (第1報) パイロット調査報告. 第16回日本臨床救急医学会総会, 東京, 平成25年7月13日. (口演)

3. 神山麻由子：臨床実習のあり方について～実習項目の問題点～. 平成25年度一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 教員研修会, 福岡, 平成25年8月8日. (口演)
4. 神山麻由子：臨床実習のあり方について～臨床実習の現状と課題～. 平成25年度一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 教員研修会, 福岡, 平成25年8月8日. (パネルディスカッション)
5. 久米梢子, 久保祐美子, 神山麻由子, 岡本博照, 小泉健雄, 和田貴子：救急救命士に対する二次救急病院での評価 (第1報) パイロット調査および多施設調査の報告. 第41回日本救急医学会総会, 東京, 平成25年10月22日. (口演)
6. 和田貴子：産婦人科救急. 第41回日本救急医学会総会, 東京, 平成25年10月22日. (座長)
7. 神山麻由子, 久保祐美子, 久米梢子, 小泉健雄, 和田貴子：救急救命士の臨床実習のあり方についての提案, 第42回杏林医学会, 三鷹, 平成25年11月16日. (口演)

論 文

1. 野島真美, 岡本博照, 神山麻由子, 和田貴子, 角田透：東日本大震災に派遣された消防官の惨事ストレスとメンタルヘルスについての横断研究. 杏林医学会誌 44(1); 13-23, 2013.
2. 神山麻由子, 岡本博照, 細田武伸, 和田貴子：都市部救急隊員の日常業務のストレス 消防隊員および救助隊員との比較. 日臨救医誌 16(4); 557-564: 2013.
3. Hiroteru Okamoto, Takenobu Hosoda, Takako Wada, Koji Teruya, Tooru Tsunoda: Work conditions and fatigue symptoms among Japanese male emergency medical technicians (EMTs). Journal of the Kyorin Medical Society 44(3); 127-136: 2013.

報告書

1. 久米梢子, 久保祐美子, 神山麻由子, 岡本博照, 和田貴子：二次救急病院における救急救命士の評価についての横断的調査研究. (一財) 救急振興財団調査研究助成事業 (平成25年度救急に関する調査研究助成事業). 報告書

その他

1. 平成25年度 (一財) 救急振興財団調査研究助成事業 「二次救急病院における救急救命士の評価についての横断的調査研究 (代表：久米梢子)」

神経生理学研究室

口 演

1. 高橋宗良：水難事故防止に向けての取組. 水難事故要因と対策. 第37回 (公財) 日本水泳連盟全国地域指導者 (普及) 委員長会議, 東京, 平成25年6

月 8 日.

2. 高橋宗良, 北徹郎, 吉原紳: ゴルフ・ラウンド中の喫煙が心臓自律神経活動に及ぼす影響. 日本ゴルフ学会第 26 回大会, 小平, 平成 25 年 8 月 3 日.
3. 吉原紳, 北徹郎, 高橋宗良, 加藤象二郎: プロゴルファーのイメージングタイム - 第 48 回, 第 49 回ゴルフ日本シリーズにおける石川選手のイメージングタイムの分析 -. 日本ゴルフ学会第 26 回大会, 小平, 平成 25 年 8 月 3 日.
4. 北徹郎, 高橋宗良, 橋口剛夫, 吉原紳: ゴルフ場における喫煙環境と受動喫煙対策 -APACT2013 国際会議における発表概要報告-. 日本ゴルフ学会第 26 回大会, 小平, 平成 25 年 8 月 3 日.
5. 高橋宗良, 北徹郎, 松林幸一郎: 身近な素材を利用した大学ゴルフ授業に役立つ教具づくりと指導法. 第 1 回大学ゴルフ授業研究会, 東京, 平成 25 年 8 月 9 日.
6. 北徹郎, 高橋宗良: 美術系大学生におけるフィットネス授業半期受講後の体力に関する一考察. 日本体育学会第 64 回大会, 草津, 平成 25 年 8 月 28 日.
7. 北徹郎, 高橋宗良, 安部久貴, 吉原紳, 鈴木昌子, 今井みゆき, 田中久仁子, 田代佐知子, 小荒井慶子: 看護系学生における運動・スポーツ実施状況と文部科学省・新体力テスト結果に関する一考察. 日本教材学会 設立 25 周年記念研究発表大会, 平成 25 年 10 月.
8. 高橋宗良, 北徹郎, 松林幸一郎: 身近な素材を利用したゴルフスイングづくりのための教材作成の提案. 第 2 回大学体育研究フォーラム, 小平, 平成 26 年 3 月 27 日.

論文

1. 鈴木昌子, 今井みゆき, 田中久仁子, 田代佐知子, 小荒井慶子, 北徹郎, 高橋宗良, 安部久貴, 吉原紳: 看護系女子学生の運動実施状況と体力テスト結果についての一考察. 聖マリアンナ医科大学看護専門学校紀要 6(1):23-26. 2013.
2. 北徹郎, 高橋宗良, 橋口剛夫, 吉原紳: ゴルフ場における喫煙環境と受動喫煙対策 -九州地方のゴルフ場に対する調査-. 日本禁煙学会雑誌 9(1): 16-18. 2014.

著書

1. 高橋宗良: 第 II 章 子どもを取り巻く危険と事件・事故 5 子どもが巻き込まれる事件・事故 ③水の事故. 学校安全と危機管理 改訂版. 渡邊正樹. 東京, 大修館書店, 2013. pp.65-77.

その他

1. 高橋宗良: 大学体育関連情報マンスリーレポート No.21. 全国大学体育連合メールニュース, 平成 25 年 11 月 1 日.
2. 高橋宗良: 公認スポーツ指導者等表彰 (公益財団法人 日本体育協会)

医療安全管理学研究室

口 演

1. 川村治子: 医療事故防止のための必須知識. 宮崎県看護協会医療安全管理者研修会, 宮崎, 平成 25 年 9 月 13 日
2. 川村治子: 医療事故防止. 沖縄県看護教員養成講習会, 那覇, 平成 25 年 7 月 7 日
3. 久保佑美子, 久米梢子, 神山麻由子, 岡本博照, 山口芳裕, 松田剛明, 照屋浩司, 和田貴子: 二次救急患者の入院に係る地理的要因の影響. 第 16 回日本臨床救急医学会総会, 東京, 平成 25 年 7 月 12 日
4. 久米梢子, 久保佑美子, 神山麻由子, 岡本博照, 和田貴子: 二次救急病院に勤務する救急救命士に対する評価 - 第 1 報 パイロット調査報告 -. 第 16 回日本臨床救急医学会総会, 東京, 平成 25 年 7 月 12 日 13 日.
5. 川村治子: 医療安全マネジメント. 平成 25 年度回復期セラピストマネージャーコース, 東京, 平成 25 年 7 月 26 日
6. 川村治子: 医療事故防止対策の重要点. 第 4 回三鷹市医師会・杏林大学病院 医療安全連携推進講演会, 三鷹, 平成 25 年 11 月 1 日
7. 川村治子: 医療事故防止のために知っておきたい知識～注射・内服事故防止～. 山口県看護協会研修会, 防府, 平成 25 年 9 月 7 日
8. 川村治子: シンポジウム『転倒事故はどこまで施設, 現場の責任か』～医療安全の立場から: 転倒・転落 1,500 事例の分析から対策とその限界を考える. 転倒予防医学研究会第 10 回研究集会, 東京, 平成 25 年 10 月 6 日
9. 川村治子: 市中病院・診療所の医療安全対策, 杏林大学医学部同窓会支部長会, 東京, 平成 25 年 10 月 20 日
10. 久米梢子, 岡本博照, 久保佑美子, 神山麻由子, 小泉健雄, 和田貴子: 二次救急病院に勤務する救急救命士に対する評価 - 第 1 報 パイロット調査報告および多施設調査の報告 -. 第 41 回日本救急医学会総会, 東京, 平成 25 年 10 月 22 日.
11. 川村治子: 病院のヒヤリハット事例から診療所の医療安全を考える. 石川 医療安全研修会, 金沢市, 平成 25 年 10 月 31 日
12. 神山麻由子, 久保佑美子, 久米梢子, 小泉健雄, 和田貴子: 救急救命士の臨床実習のあり方についての提案. 第 42 回杏林医学会, 三鷹, 平成 25 年 11 月 16 日.
13. 川村治子: リスクマネジメント手法インシデントリポートの有効活用, 全社会福祉施設経営者協議会「初期リスクマネージャー養成研修会」, 東京, 平成 26 年 2 月 24 日

著書

1. 川村治子: 系統看護学講座統合分野 医療安全 第 3 版, 東京, 医学書院, 2014 年 3 月 31 日

在宅看護学研究室

口 演

1. Ogane H, Suzuki S : Frank Discussions Between Specialists and Local Residents: That Encouraged Specialists to Rethink Home-based Palliative Care, the 10th Asia Pacific Hospice Conference, Thailand, October 11. 2013.
2. Ogane H: Implications for Nursing Practice & Research Based on Action Research Regarding Home-based Palliative Care, The Collaborative Action Research Network Conference, Norway, November 9. 2013.
3. 大金ひろみ, 丹内まゆみ: この地域での在宅ホスピス緩和ケア 看護の視点から, 杏林大学医学部附属病院 がんセンター 第11回緩和ケア講演会, 三鷹市, 平成25年3月13日.

基礎看護学研究室

口 演

1. 山本君子, 清水典子¹, 佐藤みつ子² (¹ 東京医科大学看護学科, ² 了徳寺大学看護学科): 看護大学生の芸術科目を通しての学びと看護との関連. 日本看護学教育学会第23回学術集会, 仙台, 平成25年8月7日-8日.
2. 山本君子, 甲州優¹, 太田淳子² (¹ 在宅看護研究センター, ² 日本医療科学大学看護学科): 高齢者が捉える孤立死の実態. 日本看護研究学会第39回学術集会, 秋田, 平成25年8月22日-23日.
3. 金子多喜子, 荒添美紀¹, 天野雅美¹, 齊藤茂子¹ (¹ 東京工科大学): 新人看護師の早期退職を決意するまでの心理過程. 第17回日本看護管理学会学術集会, 東京, 平成25年8月24-25日.
4. 柴田明子¹, 山本君子, 西村真理子¹ (¹ T.E.N アロマテラピースクール) 他: アロマトリートメントによる認知症高齢者の気分変化の経過. 第3回日本認知症予防学会学術集会, 新潟, 平成25年9月27日-29日.
5. 牧野桐子¹, 山本君子, 西村真理子¹ (¹ T.E.N アロマテラピースクール) 他: 認知症高齢者のアロマトリートメントによる気分状態の変化. 第3回日本認知症予防学会学術集会, 新潟, 平成25年9月27日-29日.
6. 津田美智子, 今留忍: 看護学生の心理的ストレス反応と性格特性の関連 第3報. 第72回日本公衆衛生学会総会, 三重, 平成25年10月23-25日.
7. 今留忍, 柳橋正智, 佐藤智子, 谷岸悦子¹ (¹ 杏林大学): 学年別にみた看護学生のコミュニケーション能力. 第33回日本看護科学学会学術集会, 大阪, 平成25年12月6日-7日.
8. 津田美智子, 今留忍: 看護学生の心理的ストレス反応の特徴. 第33回日本看護科学学会学術集会, 大阪, 平成25年12月6日-12月7日.

論 文

1. 金子多喜子, 小玉正博¹ (¹ 埼玉学園大学): 对患者

関係において看護師が知覚する感情不協和の検討ー葛藤頻度と葛藤強度の視点からー. ヒューマン・ケア研究 14(1), 1-11, 2013.

2. 岡本恵里¹, 白石葉子¹, 佐藤智子, 小寺栄子², 鈴木聡美³ (¹ 三重県立看護大学, ² 西武文理大学, ³ 元東京女子医科大学): 臨床看護師を対象としたフィジカルアセスメント教育方法の検討. 三重県立看護大学紀要 17: 17-26, 2013.

著 書

1. 金子多喜子: 疾患別看護過程の展開 [第4版], 山口瑞穂子, 関口恵子監修, 東京, 学研メディカル秀潤社, 2013, P 425-437.
2. 金子多喜子: 経過がみえる疾患別病態関連マップ, 山口瑞穂子, 関口恵子編集, 東京学研メディカル秀潤社, 2013, P80-81.

成人・高齢者看護学研究室

口 演

1. 伊藤有美: 重症患者の栄養管理. 2014年度ICU・CCU看護教育セミナー (初級コース), 大阪, 平成25年7月11-13日.
2. 伊藤有美: 重症患者の栄養管理. 2014年度ICU・CCU看護教育セミナー (初級コース), 東京, 平成25年9月5-7日.
3. 瀧田結香, 中島恵美子: 肺動脈性肺高血圧症患者の身体活動における日常生活の再構築プロセス. 第10回日本循環器看護学会学術集会, 東京, 平成25年9月28-29日.
4. 松下美穂子: 老人から学ぶ豊かに生きるために今できること. 杏林医学会 市民公開講演会, 東京, 平成25年11月16日.

論 文

1. 伊藤有美, 讃井将満¹, 道又元裕² (¹ 自治医科大学附属さいたま医療センター麻酔科・集中治療部, ² 杏林大学医学部附属病院看護部): 集中治療室における体重測定は安全か? 日本集中治療医学会雑誌, 20(4): 664-665, 2013.
2. 佐藤澄子: 手術室の問題解決ナビ問題解決技法ー手術看護学会での取り組みと成果ー. オペナリング, 29(3), 270-273, 2014.
3. 福田祐子: 疾患と看護がわかる看護過程ナーシングプロセス「肝がん」看護編. クリニカルスタディ, 35(2), 97-111, 2014.

特許等知的財産関係, 報告書

1. 加賀谷聡子: 虚血性心疾患患者のセルフマネジメントを促すためのリスク認識モデルの検討. 科学研究費補助金 (基盤研究 C) 研究成果報告書.

その他

1. 中島恵美子: がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事業講演会主催, 東京, 平成25年6月5日.
2. 中島恵美子: がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事業講演会主催, 東京, 平成25年8月7日.
3. 中島恵美子: がんプロフェッショナル養成基盤推進

プラン事業がん患者コーディネート養成インテンシブコース開催, 東京, 平成 25 年 9 月 21 日 -12 月 14 日.

4. 佐藤澄子: 日本手術看護学会第 6 回手術看護認定看護師フォローアップ研修主催, 東京, 平成 25 年 12 月 14 日.

母子看護学研究室

口 演

1. 寺田有里, 太田尚子, 松岡恵: 育児期の母親の心情に影響する夫からの言語的コミュニケーションに関する研究, 第 27 回日本助産学会, 金沢, 平成 25 年 5 月 1 日.
2. 内藤智子, 久保絹子, 松岡恵, 岡本美和子: 両親学級における「子どもの泣きへの対応プログラム」の介入効果の検討, 第 44 回日本看護学会-母性看護-, 岡山, 平成 25 年 9 月 26-27 日.
3. 澤田雅希, 式守晴子, 松岡恵: 助産師の考える妊娠期からの継続ケアが分娩期のケアへ与える影響, 第 27 回日本看護科学学会, 大阪, 平成 25 年 12 月 6-7 日.

論 文

1. 高木静, 鈴木恵, 松岡恵: 助産外来実践能力育成に向けての課題~助産外来の現状からの考察~, 静岡県母性衛生学会学術誌 3(1): 33-41, 2013.
2. 寺田有里, 太田尚子, 松岡恵: 育児期の母親への夫からの支援に関する文献調査. 静岡県母性衛生学会学術誌 3(1): 49-58, 2013.

その他

1. 土屋有利子: FGM と女性の健康への影響, 「アフリカの女の子に笑顔を~ FGM のない世界に~」 FGM 廃絶を支援する会ゼロトレランスデイセミナー, 新潟, 平成 25 年 6 月 8 日.
2. 土屋有利子: FGM と女性の健康, 国際協力イベントグローバルフェスタ JAPAN2013 ワークショップ, 東京, 平成 25 年 10 月 5・6 日.
3. 土屋有利子: FGM 廃絶にむけて日本からの支援, 神奈川区民力発揮プロジェクト「第 5 回セネガル物語」パネルディスカッション, 横浜, 平成 25 年 11 月 23 日.
4. 土屋有利子: FGM と女性の健康への影響, FGM 廃絶を支援する会ゼロトレランスデイセミナー, 東京, 平成 26 年 2 月 11 日.

助産学研究室

口 演

1. 中村菜美子¹, 真木智子¹, 片桐麻州美^{(¹杏林大学医学部付属病院 総合周産期母子医療センター NICU/GCU): NICU/GCU 退院後における授乳相談の有用性に関する検討, 第 27 回日本助産学会学術集会, 金沢, 平成 25 年 5 月 1-2 日.}
2. 山本真澄¹, 野本三香¹, 真木智子¹, 片桐麻州美^{(¹杏林大学医学部付属病院 総合周産期母子医療センター NICU/GCU): NICU/GCU におけるタッチケア}

定着に向けた取り組みの現状と課題, 第 2 回タッチケア学会, 東京, 平成 25 年 6 月 9 日.

3. 森澤夏海¹, 椎名亜紀子¹, 澤山千鶴¹, 尾込佳奈美¹, 山口安紀¹, 阿部由美子¹, 金子幸子¹, 守田可奈¹, 森田知子¹, 増永啓子¹, 片桐麻州美^{(¹杏林大学医学部付属病院 総合周産期母子医療センター産科病棟): 胎児異常を指摘され妊娠の中断を選択した妊婦に対する意思決定支援の一考察, 第 15 回日本ヒューマン・ケア心理学会学術集会, 東京, 平成 25 年 7 月 6-7 日.}
4. 椎名亜紀子¹, 片桐麻州美^{(¹杏林大学医学部付属病院 総合周産期母子医療センター産科病棟): 急激に増悪した妊娠高血圧症候群により緊急帝王切開に至った産婦の分娩体験受容への支援, 第 15 回日本ヒューマン・ケア心理学会学術集会, 東京, 平成 25 年 7 月 6-7 日.}
5. Saito M¹, Okubo N¹, Misumi J¹, Taniguchi A, Hiroyama N¹, Odagaki F¹ (¹Tokyo Medical and Dental Univ): Difficulties during pregnancy in Japan for English speaking non-Japanese. The 39th Annual Conference of the Transcultural Nursing Society, USA, Oct. 23-26, 2013.
7. Shiono E¹, Okubo N², Saito M², Taniguchi A (¹Miyagi Univ, ²Tokyo Medical and Dental Univ): Parents' Relationships after the birth of their first baby: A qualitative meta-synthesis. The 3rd Global Congress for Qualitative Health Research, Thailand, Dec. 4-6, 2013.
8. 中村菜美子¹, 真木智子¹, 片桐麻州美^{(¹杏林大学医学部付属病院 総合周産期母子医療センター NICU/GCU): すくすく授乳相談開設後 1 年間の活動実績, 第 28 回日本助産学会学術集会, 長崎, 平成 26 年 3 月 22-23 日.}
9. 池田敏子¹, 星綾香¹, 宮本真¹, 宮永優実¹, 齋藤由加¹, 岡部夏季¹, 林真希¹, 森田知子¹, 林啓子¹, 片桐麻州美^{(¹杏林大学医学部付属病院 総合周産期母子医療センター産科病棟): 母乳栄養で退院した母子が一ヶ月健診時に混合栄養となった要因分析, 第 28 回日本助産学会学術集会, 長崎, 平成 26 年 3 月 22-23 日.}

報告書

1. 大久保功子¹, 廣山奈津子¹, 谷口綾: 育児支援の最前線 日本の調査 ①日本の保健師調査から. 育児支援における看護職の役割-日・米・フィンランドの調査から-. 廣瀬たい子¹(研究代表者)^{(¹東京医科歯科大学大学院), 文部科学省科学研究費補助金 (基盤研究 B) 報告書, 平成 25 年 6 月.}

その他

1. 片桐麻州美: 産科混合病棟におけるユニットマネジメント, 平成 25 年度 第 2 回日本看護協会全国職能委員長会で講演, 東京, 平成 26 年 3 月 7 日.

小児看護研究室

口 演

1. Iimura N¹, Nishida S², Yoshino J¹(Tokyo Metropolitan Univ, ²Kyoritsu Women's Univ): The Voices of Japanese Mothers Raising Infants and/or Toddlers; From Interviews with Mothers Attending the Family Support Centers running by Non-Profit Organization. 3rd World Academy of Nursing Science, Korea, Oct 18. 2013.

著 書

1. 石川福江, 大塚香, 野中淳子: 子どもの白血病, 小児がん看護に携わる看護師のメンタルケア. 塩飽仁編集. 小児看護, へるす出版, 2013, p.1152-1156.

地域看護学研究室

口 演

1. 大木幸子, 高城智圭, 阿部幸枝¹, 生島嗣², 岡野江美³, 中澤よう子⁴, 野口雅美⁵, 古屋智子⁶, 谷部陽子⁷ (¹ぶれいす東京, ²東京都立多摩総合精神保健福祉センター, ³東京女子医大病院, ⁴神奈川県保健福祉局保健医療部, ⁵東京都多摩府中保健所, ⁶川崎市多摩区保健福祉センター, ⁷筑波大学): 薬物使用の課題をもつ HIV 陽性者への支援に関する経験と支援への認識の関連, 八王子, 第 52 回日本社会医学会, 平成 25 年 7 月 6-7 日.
2. 大木幸子: 東日本大震災の復興期におけるコミュニティ支援の課題～コミュニティ支援におけるソフトとハードの交叉面を探る: 第 52 回日本社会医学会, 2013, 東京.
3. 生島嗣¹, 大塚理加², 大木幸子, 若林チヒロ³ (¹ぶれいす東京, ²国立長寿医療研究センター, ³埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科): HIV 陽性者の地域支援研究 (1)ー東京都, 大阪府の行政窓口による相談対応に関する調査, 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 津, 平成 25 年 10 月 23-25 日.
4. 大木幸子, 高城智圭, 生島嗣¹, 岡野江美², 中澤よう子³, 野口雅美⁴, 古屋智子⁵, 若林チヒロ⁶ (¹ぶれいす東京, ²東京女子医大病院, ³神奈川県保健福祉局保健医療部, ⁴東京都多摩府中保健所, ⁵川崎市多摩区保健福祉センター, ⁶埼玉県立大学保健医療福祉学部健康): HIV 陽性者の地域支援研究 (2) エイズ拠点病院からみた地域との連携の現状と課題, 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 津, 平成 25 年 10 月 23-25 日.
5. 矢島嵩¹, 井上洋士², 板垣貴志³, 戸ヶ里泰典⁴, 細川陸也⁵, 大木幸子, 若林チヒロ⁶ (¹日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス, ²放送大学, ³株式会社アクセライト, ⁴京都大学大学院, ⁵埼玉県立大学): HIV 陽性者のための総合情報サイト作成プロセス及びリンクしたリソースの内容分析, 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 津, 平成 25 年 10 月 23-25 日.
6. 板垣貴志¹, 井上洋士², 矢島嵩³, 若林チヒロ⁴, 戸ヶ里泰典⁵, 細川陸也⁶, 大木幸子, (¹株式会社アク

- セライト,²放送大学,³日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス,⁴埼玉県立大学,⁵京都大学大学院): HIV 陽性者のための総合情報サイト構築におけるシステム面の工夫とアクセス解析, 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 津, 平成 25 年 10 月 23-25 日.
7. 井上洋士¹, 戸ヶ里泰典¹, 若林チヒロ², 細川陸也³, 矢島嵩⁴, 板垣貴志⁵, 大木幸子, (¹放送大学株,²埼玉県立大学,³京都大学大学院,⁴日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス,⁵株式会社アクセライト): HIV Futures Japan プロジェクトの「HIV 陽性者のためのウェブ調査」: 基本石器と特徴, 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 津, 平成 25 年 10 月 23-25 日.
8. 大木幸子, 高城智圭, 生島嗣¹, 岡野江美², 中澤よう子³, 野口雅美⁴, 古屋智子, (¹ぶれいす東京, ²東京女子医大病院, ³神奈川県保健福祉局保健医療部, ⁴東京都多摩府中保健所, ⁵川崎市多摩区保健福祉センター): エイズ拠点病院での薬物相談を含めた精神保健に関する相談対応の状況, 第 27 回日本エイズ学会学術集会, 熊本, 平成 25 年 11 月 20-22 日.
9. 高久陽介^{1,9}, 井上洋士², 矢島嵩³, 戸ヶ里泰典², 板垣貴志⁴, 細川陸也⁵, 阿部桜子⁶, 吉澤繁行⁷, 若林チヒロ⁸, 大木幸子 (¹日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス, ²放送大学, ³ぶれいす東京, ⁴株式会社アクセライト, ⁵京都大学大学院, ⁶NTT docomo, ⁷ANGEL LIFE NAGOYA, ⁸埼玉県立大学, ⁹公益財団法人エイズ予防財団: 「Futures Japan」 HIV 陽性者を対象とした調査における当事者参画の意義と効果に関する考察, 第 27 回日本エイズ学会学術集会, 熊本, 平成 25 年 11 月 20-22 日.
10. 板垣貴志¹, 井上洋士², 戸ヶ里泰典², 高久陽介^{3,4}, 矢島嵩^{3,5}, 阿部桜子⁶, 細川陸也⁷, 吉澤繁行⁸, 大木幸子, 若林チヒロ⁹ (¹株式会社アクセライト, ²放送大学, ³日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス, ⁴公益財団法人エイズ予防財団, ⁵ぶれいす東京, ⁶NTT docomo, ⁷京都大学大学院, ⁸ANGEL LIFE NAGOYA, ⁹埼玉県立大学: HIV Futures Japan プロジェクトの「HIV 陽性者のためのウェブ調査」におけるウェブ上の工夫, 第 27 回日本エイズ学会学術集会, 熊本, 平成 25 年 11 月 20-22 日.
11. 井上洋士¹, 戸ヶ里泰典¹, 高久陽介^{2,3}, 矢島嵩^{2,4}, 板垣貴志⁵, 阿部桜子⁶, 細川陸也⁷, 吉澤繁行⁸, 大木幸子, 若林チヒロ⁹ (¹放送大学, ²日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス, ³公益財団法人エイズ予防財団, ⁴ぶれいす東京, ⁵株式会社アクセライト, ⁶NTT docomo, ⁷京都大学大学院, ⁸ANGEL LIFE NAGOYA, ⁹埼玉県立大学): HIV Futures Japan プロジェクトにおける「HIV 陽性者のためのウェブ調査」の基本設計, 第 27 回日本エイズ学会学術集会, 熊本, 平成 25 年 11 月 20-22 日.
12. 矢島嵩^{1,8}, 井上洋士², 高久陽介^{1,3}, 板垣貴志⁴, 桜井啓介^{1,8}, 戸ヶ里泰典², 細川陸也⁵, 阿部桜子⁶, 吉澤繁行⁷, 大木幸子, 若林チヒロ⁹ (¹日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス, ²放送

大学,³公益財団法人エイズ予防財団,⁴株式会社アクセライト,⁵京都大学大学院,⁶NTT docomo,⁷ANGEL LIFE NAGOYA,⁸特定非営利活動法人ぶれいす東京,⁹埼玉県立大学):Futures Japan ~ HIV陽性者のための総合情報サイト~,第27回日本エイズ学会学術集会,熊本,平成25年11月20-22日.

13. 中澤真由美¹,川又協子¹,森田桂,大木幸子(¹重症心身障害児在宅療育支援センター 東部訪問看護事業部):在宅重症心身障害児と家族を支える訪問看護の役割~訪問看護師による241名の生活実態調査から~,第3回日本在宅看護学会,東京,平成25年11月16日.

研究会・研修会・国際シンポジウム

1. 加藤昌代:カウンセリングワークショップ,第561回NPO法人日本精神療学会,伊香保町,平成25年4月20日-21日.
2. 大木幸子:要支援家族への対応,全国重症心身障害者(者)を守る会西部訪問看護事業部研修,東大和,平成25年5月1日.
3. 大木幸子:日本のHIV/AIDSの現状とこれから,第5回アフリカ開発会議国際シンポジウム「エイズを考える:アフリカと日本の共通課題」,横浜,平成25年6月1日.
4. 大木幸子:セクシュアリティの理解とセクシュアルヘルスへの支援,平成25年度東京都保健所職員等エイズ専門研修「HIV検査の工夫と相談の充実のために」,平成25年6月21日.
5. 大木幸子:横浜市保健師(助産師)1年目研修第1回,横浜,平成25年7月31日.
6. 大木幸子:保健師に求められる能力,視点,姿勢,平成24年度青森県初任期保健師研修第1回,青森,平成25年8月12日.
7. 大木幸子:地域における保健師の保健活動についてー健康危機管理と地区担当制ー,平成25年度町田市保健師業務連絡会研修会,町田,平成25年8月20日.
8. 加藤昌代:カウンセリングワークショップ,第568回NPO法人日本精神療学会,山ノ内町,平成25年8月31日-9月2日.
9. 大木幸子:HIV陽性者支援の現状と課題,平成25年度東京都保健所職員等エイズ専門研修「療養支援の基本」,東京,平成25年10月1日.
10. 大木幸子:平成25年度保健所等HIV検査従事者のためのエイズ専門研修,横浜,平成25年10月28日.
11. 加藤昌代:カウンセリングワークショップ,第572回NPO法人日本精神療学会,上田,平成25年11月9日-10日.
12. 大木幸子:東日本大震災ー記入から復興フェーズへ,そして今求められる保健医療支援ー,平成25年度なごや看護生涯学習セミナー公開講演会,名古屋,平成25年11月13日.
13. 大木幸子:個人の健康課題・地域の健康課題の発見から始まる地域保健活動,川崎市新任フォロー期看護職研修,川崎,平成25年11月26日.

14. 大木幸子:保健師の役割を考えよう~家族アセスメントをとおして~,東京都平成25年度精神保健福祉研修,東京,平成25年12月9日.
15. 大木幸子:横浜市保健師(助産師)1年目研修第2回,横浜,平成25年12月13日.
16. 大木幸子:セクシュアリティの理解とセクシュアルヘルスへの支援,長野市HIV感染者・エイズ患者の支援を考える会,長野,平成25年12月16日.
17. 大木幸子:保健師に求められる能力,視点,姿勢,平成24年度青森県初任期保健師研修第2回,青森,平成26年1月17日.
18. 大木幸子:教育機関の取り組み,地域保健総合推進事業発表会パネルディスカッション「保健師活動指針の見直しについて」,東京,平成26年3月4日.

論文

1. 井上洋士¹,戸ヶ里泰典¹,細川陸也²,阿部桜子³,吉澤繁行⁴,若林チヒロ⁵大木幸子,板垣貴志⁶,高久陽介⁷,矢島嵩^{7,8}(¹放送大学,²京都大学大学院,³NTT docomo,⁴ANGEL LIFE NAGOYA,⁵埼玉県立大学,⁶株式会社アクセライト,⁷日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス,⁸ぶれいす東京):HIV陽性者をめぐる今日的課題ーHIV Futures Japanプロジェクトの検討プロセスを踏まえてー,日本エイズ学会誌15(2),2013,p85-90.
2. 高城智圭,星旦二¹(¹首都大学東京都市環境科学研究科):乳幼児をもつ父親のQuality of Lifeと構造的にみた関連要因.日本社会医学研究31(1):87-94,2013.
3. 山口佳子,森田桂¹,加藤昌代,平野かよ子²(¹杏林大・保・精神保健看護学,²長崎県立大学):未解決の健康課題を地域ケアシステム構築によって解決する保健師活動の展開過程の特徴ー概念モデルの作成のための一考察ー.杏林大学研究報告教養部門(31):21-31,2013.

著書

1. 大木幸子:感染症集団発生と保健活動,標準保健師講座3対象別公衆衛生看護活動,医学書院,2013.p328-340.

受賞,特許等知的財産関係,報告書

1. 大木幸子:HIV及び精神保健の専門機関における支援と連携に関する研究,平成25年度厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策研究事業)分担研究報告書.

精神看護学教室

口演

1. 浅沼奈美:「心の傷とつながること~家族会の意義~」.あおき会(三鷹市精神障害者家族会),三鷹,平成25年4月18日.
2. 佐藤美保,横山祐樹¹,岡田昌也¹,田野将尊,北澤典子¹,吉田信子¹,浅沼奈美(¹杏林大学医学部付属病院精神神経科病棟):実習指導者と教員の連携による「患者-学生関係」の変容ー実習指導に困難さ

を感じた事例より一、日本精神保健看護学会第23回学術集会, 京都, 2013年6月15・16日。

3. 田野将尊, 佐藤美保, 浅沼奈美: 行動制限の体験学習を通じた学生の学び～制限を受ける患者への共感をめざして～. 日本精神保健看護学会第23回学術集会, 京都, 2013年6月15・16日。
4. 浅沼奈美: 「ひきこもり支援事業を通じた地域ネットワークの再構築に向けて」. 町田市保健所, 町田, 平成25年6月20日。
5. 浅沼奈美: 「相談援助関係における保健師のメンタルヘルス～相談援助における心理力動と援助者の燃え尽きについて～」. 特別区専門研修 保健指導実務, 特別区職員研修所, 東京, 平成25年7月29日。
6. 新井麻友子¹, 村田久仁子¹, 亀田敦子¹, 河西あかね¹, 向山晴子¹, 大井洋¹, 浅沼奈美⁽¹⁾ 町田市保健所): 町田市ひきこもり者支援体制推進事業の取り組み～市民意識調査等の結果から～. 第9回東京都福祉保健医療学会, 東京, 平成25年12月18日。
7. 浅沼奈美: 「援助について考える」. 東京都精神保健福祉研修(後期) 地域援助技術研修・中級. 東京都中部総合精神保健福祉センター, 東京, 平成26年1月24日。
8. 津本美幸¹, 高館京宏¹, 長谷川美香¹, 新井麻友子¹, 村田久仁子¹, 亀田敦子¹, 本田浩子¹, 河西あかね¹, 向山晴子¹, 大井洋¹, 浅沼奈美⁽¹⁾ 町田市保健所): 町田市ひきこもり者支援体制推進事業の取り組み. 第14回南多摩保健医療圏地域保健医療福祉フォーラム, 八王子, 平成26年1月27日。

論文

1. 新井麻友子¹, 村田久仁子¹, 亀田敦子¹, 河西あかね¹, 向山晴子¹, 大井洋¹, 浅沼奈美⁽¹⁾ 町田市保健所): 町田市ひきこもり者支援体制推進事業の取り組み～市民意識調査等の結果から～. 第9回東京都福祉保健医療学会誌受賞演題論文集(平成25年度), 44-46, 2014。
2. 田野 将尊: 精神科急性期病棟におけるカンファレンス開催の実情と意義 都内精神科A病院の現状. リハビリテーション連携科学 14巻1号: 39-47, 2013.06。

報告書

1. 浅沼奈美: 「福祉事務所等における保健師の効果的な活動・活用事例」. 平成25年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業), 平成25年10月。
2. 浅沼奈美: 「若年者の自立に関する調査報告」～ひきこもる若者たちを地域で支えるために～. 町田市保健所, 調査協力, 平成25年版。
3. 浅沼奈美: 平成24年度厚生労働科学研究「質の高いサービスを提供するための地域保健行政従事者の系統的な人材育成に関する研究」分担研究「福祉事務所等における保健師の効果的な活動・活動事例に関する研究」研究協力. 福祉事務所等における保健師の効果的な活動・活用事例 事例集, 平成25年版。

その他

1. 新井麻友子¹, 村田久仁子¹, 亀田敦子¹, 河西あかね¹, 向山晴子¹, 大井洋¹, 浅沼奈美⁽¹⁾ 町田市保健所): 町田市ひきこもり者支援体制推進事業の取り組み～市民意識調査等の結果から～. (第9回東京都福祉保健医療学会優秀賞)。

医療科学Ⅰ研究室

論文

1. 吉田昌記¹, 高篠智¹, 山田千歩¹, 須藤孝子¹, 岩楯桜子¹, 高木徹也¹, 佐藤喜宣⁽¹⁾ 杏林大・医): 法医学解剖後のお遺体修復の試み—頭蓋冠の固定および頭蓋骨の間隙充填—. 法医学の実際と研究 56: 243-246, 2013。

その他

1. 第13回世界ユースバレーボール女子選手権大会 引率スタッフ: 帯同ドクター(岩楯桜子), 派遣日: 2013年7月26日-8月4日, 派遣場所: タイ ナコンラチャシマ。

医療科学Ⅱ研究室

口演

1. 小林治. 外来診療における感染症: トリアージ・診断・治療. 第25回千葉県東葛地区医療協議会(基調講演), 千葉, 2013年7月20日。
2. 小林治. 呼吸器系からの感染防御. 平成25年度北里大学病院感染制御担当者育成講演集会, 東京, 2013年8月3日。
3. Osamu Kobayashi, Osaki T, Kurata S, Nomura H, Kamiya S and Matsuda T. Detection of viral and bacterial pathogen from the patients with influenza like illness in 2012/13. 2013 ICAAC, Denver, Sept. 13th. 2013。
4. 小林治. 新型インフルエンザパンデミックを見据えたワクチン開発に何を望むか. 第54回日本熱帯病学会大会(シンポジウム6), 長崎, 2013年10月5日。
5. 小林治. インフルエンザの予防と治療. 公益財団法人日本感染症医薬品協会講演会, 東京, 2013年10月7日。
6. 小林治. インフルエンザ予防対策セミナー. 健康保健組合連合会東京連合会セミナー, 東京 2013年10月23日。
7. 小林治, 大崎敬子, 蔵田訓, 神谷茂. 冬季に高熱を訴える成人を対象としたxTAG RVP FASTによるウイルス検出状況. 第62回日本感染症学会東日本地方会, 東京, 2013年11月1日。
8. 小林治. インフルエンザ治療の現在と未来. 星薬科大学認定薬剤師研修, 東京, 2013年12月1日。
9. 小林治. 市中肺炎の外来治療. 渋谷区医師会講演会, 東京, 2014年1月24日。
10. 小林治, 蔵田訓, 大崎敬子, 神谷茂. 冬季に高熱を訴える成人を対象としたxTAG RVP FASTによる病原体検出状況. 第25回日本臨床微生物学会総会,

愛知, 2014年2月1日.

11. 小林治. 看護系大学における感染症教育の現状と展望. シンポジウム5 第29回日本環境感染学会総会, 東京, 2014年2月14日.
12. Osamu Kobayashi. Clinical effectiveness and safety of favipiravir. Nikkei Asian Conference renewal of our commitment to fight against communicable diseases, Okinawa, Feb. 14th. 2014.

論文

1. 小林治. 新薬ファビピラビル-RNAポリメラーゼ阻害薬に期待する臨床効果. 感染と抗菌薬, 16(3), 228-35, 2013.
2. Sakurai T, Ogasawara J, Kizaki T, Sato S, Ishibashi M, Kobayashi O, Oh-Ishi S, Nagasawa J, Takahashi K, Ishida H, Izawa T and Ohno H. The effects of exercise training on obesity-induced dysregulated expression of adipokines in white adipose tissue. Int J Endocrinol. 2013; 2013:801743. Epub 2013 Dec 4. Review.
3. 小林治. RNAポリメラーゼ阻害薬. カレントセラピー 32(1), 73-8, 2014.
4. 小林治. 新規抗インフルエンザ薬は感染対策にいかなる進展をもたらすか. 感染対策 ICT ジャーナル, 9(1), 56-61, 2014.
5. 三笠桂一, 青木洋介, 阿部修一, 岩田敏, 尾内一信, 笠原敬, 門田淳一, 岸田直樹, 小林治, 坂田宏, 関雅文, 塚田弘樹, 徳江豊, 中村(内山)ふくみ, 比嘉太, 前田光一, 柳原克紀, 吉田耕一郎. JAID/JSC 感染症治療ガイドライン - 呼吸器感染症 -. 日本化学療法学会雑誌, 62(1), 1-109, 2014.
6. 三笠桂一, 青木洋介, 阿部修一, 岩田敏, 尾内一信, 笠原敬, 門田淳一, 岸田直樹, 小林治, 坂田宏, 関雅文, 塚田弘樹, 徳江豊, 中村(内山)ふくみ, 比嘉太, 前田光一, 柳原克紀, 吉田耕一郎. JAID/JSC 感染症治療ガイドライン - 呼吸器感染症 -. 日本感染症学会雑誌, 88(1), 1-109, 2014.
7. 小林治. 癌発現に関わる感染症についての新知見. 杏林医会誌, 45(1), 29-34, 2014.

著書

1. 小林治. RNAポリメラーゼ阻害薬. 別冊医学のあゆみ インフルエンザ Update - 課題と問題点 菅谷憲夫 編. 東京, 医歯薬出版株式会社, 2013年4月10日, P89-93.
2. 小林治. ST合剤, メトロニダゾール. 抗菌薬の選び方・使い方ハンドブック 戸塚恭一 編. 東京, 羊土社, 2013年10月15日, P190-6.
3. 小林治, 島田馨. AIDS. 改訂第8版 内科学書2. 小川聡 総編集, 後藤元, 三森経世, 大田健, 三嶋理晃 部門編集. 東京, 中山書店, 2013年10月31日, P115-121.
4. 小林治, 島田馨. ヒト乳頭ウイルス感染症. 改訂第8版 内科学書2. 小川聡 総編集, 後藤元, 三森経世, 大田健, 三嶋理晃 部門編集. 東京, 中山書店, 2013年10月31日, P121.
5. 小林治, 島田馨. ウエストナイル熱. 改訂第8版

内科学書2. 小川聡 総編集, 後藤元, 三森経世, 大田健, 三嶋理晃 部門編集. 東京, 中山書店, 2013年10月31日, P121.

6. 小林治, 島田馨. ヘンドラウイルス感染症 ニパウイルス感染症. 改訂第8版 内科学書2. 小川聡 総編集, 後藤元, 三森経世, 大田健, 三嶋理晃 部門編集. 東京, 中山書店, 2013年10月31日, P121.
7. 小林治. 肺炎. 全部見える スーパービジュアル呼吸器疾患. 玉置淳 編. 東京, 成美堂出版, 2013年11月30日, P93-98.
8. 小林治. 肺炎球菌性肺炎. 全部見える スーパービジュアル呼吸器疾患. 玉置淳 編. 東京, 成美堂出版, 2013年11月30日, P99-101.
9. 小林治. インフルエンザ菌肺炎. 全部見える スーパービジュアル呼吸器疾患. 玉置淳 編. 東京, 成美堂出版, 2013年11月30日, P101.

その他

1. 小林治, 蔵田訓, 大崎敬子, 神谷茂: 平成25年度日本感染症学会東日本地方会最優秀賞.

看護養護学I研究室

口演

1. 鈴木朋子, 佐藤喜美子¹, 太田ひろみ, 佐々木裕子, 勝田もも子², 近藤由理香², 増永啓子² (¹杏林大学保健学部看護学科母子看護学・助産学研究室, ²杏林大学医学部付属病院周産期センター): 多胎育児準備クラスの評価—多胎育児経験者が参加することの意義—第54回母性衛生学会学術集会, 大宮, 平成25年10月4日.
2. 鈴木朋子: 経膈分娩における分娩時出血量が母体に及ぼす身体的影響. 第54回母性衛生学会学術集会, 大宮, 平成25年10月5日.
3. 太田ひろみ, 照屋浩司¹, 片桐朝美², 大木幸子³ (¹杏林大学保健学部健康福祉学科, ²杏林大学保健学部健康福祉学科, ³杏林大学保健学部看護学科): 地域在住高齢者の個人レベルのソーシャル・キャピタルの3年間の変化と抑うつとの関連. 第72回日本公衆衛生学会総会, 三重, 平成25年10月.
4. 楠田美奈¹, 岩見文博², 片桐朝美², 太田ひろみ, 石野晶子³, 大嶺智子², 加藤英世³, 照屋浩司² (¹杏林大学保健学部看護学科, ²杏林大学保健学部健康福祉学科, ³杏林大学保健学部作業療学科): 幼児・児童を対象とした音響的骨評価値の標準域設定に関する研究. 第72回日本公衆衛生学会総会, 三重, 平成25年10月.
5. 太田ひろみ: ふたごの育児 大田区多胎育児講演会 2013年10月29日.

著書

1. Hiromi Ota, Koji Teruya¹, Tomomi Katagiri², Sachiko Oki³ (¹Department of Public Health, Kyorin University, Faculty of Health Sciences, ²Department of Health and welfare, Kyorin University, Faculty of Health Sciences,

³¹Department of Nursing, Kyorin University, Faculty of Health Sciences) : The relationship between changes in social network status and depression among community-dwelling elderly J Kyorin Med Soc 44(2): 53-63, June, 2013.

2. 佐藤喜美子¹, 太田ひろみ, 佐々木祐子, 鈴木朋子¹ (杏林大学保健学部看護学科 母子看護学・助産学研究室) : 多胎育児準備クラスの意義 杏林大学研究報告 教養部門第31巻2014年.
3. 太田ひろみ : 個人レベルのソーシャル・キャピタルと高齢者の主観的健康感・抑うつとの関連 男女別の検討. 日本公衆衛生雑誌 61 (2), 2014年.

看護養護学Ⅱ研究室

口 演

1. 亀崎路子 : 子ども支援の協働化をもたらす地域ネットワークづくりに関わる養護教諭のアプローチについて. 河口湖畔教育協議会 保健研究部会, 山梨, 平成25年7月30日.
2. 豊島素子, 大川静, 奥田真里子, 手塚美恵, 亀崎路子 : 救急処置時の連絡不備事例における潜在する問題の分析—メディカルセーフターの手法を用いて—. 第60回日本学校保健学会, 東京, 平成25年11月17日.
3. 上原美子, 秋山緑, 亀崎路子, 河野千枝, 立花ま帆, 山田小夜子, 渡辺美恵 : 養護教諭の成長を捉える視点に関する研究—先駆的な養護活動を展開した養護教諭のライフストーリーから—. 第10回日本学校健康相談学会, 東京, 平成26年3月16日.
4. 楠田美奈, 岩見文博, 片桐朝美 : 幼児・児童を対象とした音響的骨評価値の標準域設定に関する研究. 第72回日本公衆衛生学会, 三重, 平成25年10月25日.
5. 佐野恵美香, 楠田美奈 : 超音波診断装置を用いた肘窩における採血部位の検討. 第33回日本看護科学学会学術集会, 大阪, 平成25年12月7日.

論 文

1. 亀崎路子, 秋山緑, 河野千枝, 立花ま帆, 上原美子, 山田小夜子, 渡辺美恵 : 養護教諭の成長を捉える支援に関する文献検討—養護教諭のキャリア発達の解明を目指して—. 学校健康相談研究 10 (2) : 124 - 140, 2014.

著 書

1. 亀崎路子 : 第3章 頭部打撲, 2. 応急手当の方法. 養護教諭のためのフィジカルアセスメント 2. 大谷尚子, 五十嵐徹, 砂村京子, 荻津真理子. 東京, 日本小児医事出版社, 2013. 25 - 26.

その他

1. 亀崎路子, 山田慶子, 北嶋恭子, 奥田幸恵, 坂入洋子 : 座談会 いじめ—養護教諭の見方・かわり方—特集1 いじめと養護教諭. 日本学校健康相談学会 10 (1) : 35 - 44, 2013.

看護養護学Ⅲ研究室

口 演

1. 紅林佑介, 大瀧純一 : 入院中の統合失調症患者における認知機能と罹病期間との関連, 第109回日本精神神経学会学術総会, 福岡, 平成25年5月23-25日.
2. 紅林佑介, 大瀧純一 : 入院中の慢性期統合失調症患者における認知機能と入院機関との関連, 第33回日本看護科学学会学術集会, 大阪, 平成25年12月6-7日.

看護養護学Ⅳ研究室

論 文

1. 兎澤恵子, 渡辺修一郎 : 高齢者における唾液コルチゾールの日内変動と季節変動に関する基礎的研究. 日本老年医学会雑誌, 50(6), 812-817, 2013.

病態学研究室

口 演

1. 大浦紀彦, 倉地功, 加賀谷優, 清家志円, 海咲子, 芝崎由佳, 多久嶋亮彦, 波利井清紀 : 重症下肢虚血救済のための形成外科の果たす役割と現状と課題—下肢温存群と大切断・状態悪化群の比較検討—. 第56回日本形成外科学会総会・学術集会, 東京, 平成25年4月3日.
2. 大浦紀彦 : 在宅で褥瘡を診るのに必要な知識「在宅医療・緩和ケアカンファレンス」. 特別講演, 三鷹, 平成25年4月16日.
3. 大浦紀彦 : 難治性創傷と栄養. 東京大学創傷治療と栄養管理勉強会, 東京, 平成25年4月25日.
4. 大浦紀彦 : 難しいこんなに簡単 NPWT. 第10回日本褥瘡学会九州地方会学術集会, 北九州, 平成25年5月10日.
5. CLIに対するV.A.C.ATS治療システムを用いた局所陰圧閉鎖療法の検討. 第42回日本血管外科学会, 神戸, 平成25年5月30日.
6. 大浦紀彦 : 難治性創傷と栄養. 横浜みなと赤十字病院NST研究会, 神奈川, 平成25年6月7日.
7. 大浦紀彦 : 「下肢・足病変の病態と治療」 第10回日本褥瘡学会関東甲信越褥瘡学会地方会学術集会, 幕張, 平成25年6月8日.
8. 大浦紀彦 : 最新の重症下肢虚血に対する治療戦略形成外科の立場から. NTT東日本関東病院 フットケア研究会, 東京, 平成25年6月27日.
9. 大浦紀彦 : CLI(重症下肢虚血)に対する地域連携. 第7回信州VascularMeeting, 松本, 平成25年7月6日.
10. 大浦紀彦 : CLIの治療戦略 -Strategy for CLI Patients-. 第22回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 神戸, 平成25年7月11日.
11. 大浦紀彦, 井原玲, 清家志円, 芝崎由佳, 北幸紘, 中村正人, 飯田修, 多久嶋亮彦, 波利井清紀 : わが国における重症下肢虚血に対する血管内治療(EVT)の現状, 可能性と限界 多施設共同前向き研究 ;

Olive Registry より報告 . 第 5 回創傷外科学会, 京都, 平成 25 年 7 月 12 日 .

12. 大浦紀彦: New TIME 何が変わったのか . 千葉県創傷管理セミナー, 千葉, 平成 25 年 7 月 15 日 .
13. 大浦紀彦: 創傷治療・ケアの深化 あなたなら, どうしますか? デブリードマンから褥瘡治療を考える . 第 15 回日本褥瘡学会学術集会, 神戸, 平成 25 年 7 月 18 日 .
14. 大浦紀彦: 踵部褥瘡の手術適応と周術期管理方法の標準化へ向けてのアンケート調査 褥瘡の手術適応に関する作業部会 . 第 15 回日本褥瘡学会学術集会, 神戸, 平成 25 年 7 月 19 日 .
15. 大浦紀彦: 透析患者／糖尿病患者の足を考える . 第 4 回足病・フットケアミーティング, 東京, 平成 25 年 7 月 29 日 .
16. 大浦紀彦: 糖尿病性足病変の治療戦略 . 町田フットケアセミナー, 町田, 平成 25 年 8 月 8 日 .
17. 大浦紀彦: フットケアと下肢創傷治療 糖尿病性足病変の救済のために . 第 115 回大分ストーマ創傷ケア勉強会, 大分, 平成 25 年 8 月 24 日 .
18. 大浦紀彦: 在宅・一般病院・高機能病院の褥瘡治療形成外科手術を有効活用し早期治癒をめざして . 日本在宅褥瘡創傷ケア推進協会 2013 年度 関東甲信越地区 床ずれセミナー, 東京, 平成 25 年 9 月 8 日 .
19. 大浦紀彦: 栄養と褥瘡治療・創傷治癒 . 昭和大学病院院内講演会, 東京, 平成 25 年 9 月 17 日 .
20. 大浦紀彦: 最新の創傷治療 - 創傷被覆材をどう活用するか . 虎ノ門皮膚外科フォーラム特別講演, 東京, 平成 25 年 9 月 27 日 .
21. 大浦紀彦: 下肢創部感染症の評価と治療 糖尿病・透析患者の下肢感染症 - 診断と治療 - . 第 10 回日本フットケア学会鎌倉セミナー, 鎌倉, 平成 25 年 10 月 12 日 .
22. 大浦紀彦: 糖尿病・透析患者の足病変の治療戦略 - フットケアのポイント - . 第 2 回糖尿病と透析領域における地域連携の会 多職種で支えていく在宅糖尿病, 日本イーライリリー特別講演, 立川, 平成 25 年 10 月 24 日 .
23. 大浦紀彦: 糖尿病性潰瘍患者に対する total-contact casting の有用性 . 第 38 回日本足の外科学会, 仙台, 平成 25 年 11 月 1 日 .
24. 大浦紀彦: 重症下肢虚血の治療戦略 . 末梢動脈疾患学術講演会 特別講演, 東京 平成 25 年 11 月 21 日 .
25. 大浦紀彦: 「難治性創傷の栄養管理」 . 市立旭川病院 NST 講演会, 旭川, 平成 25 年 11 月 29 日 .
26. 大浦紀彦: CLI に対する創傷処置 創傷治療の基本「CLI は血行再建のみでは救えない!」. KNIC (Kamakura Non-Cardiac Intervention Conference) シンポジウム, 横浜, 平成 25 年 12 月 20 日 .
27. 大浦紀彦: 糖尿病性足病変に対する治療戦略 - フットケア外来の実例 - . 第 17 回安佐糖尿病勉強会 (安佐医師会), 広島, 平成 25 年 12 月 6 日 .
28. 大浦紀彦: こんなに面白い! 創傷の世界 創傷治療の基礎から実践まで . 第 8 回末梢循環セミナー, 横

浜, 平成 26 年 1 月 18 日 .

29. 大浦紀彦: CLI を救え! CLI 治療を困難にしているものは何か? . 第 3 回鹿児島 PAD 学術講演会, 鹿児島, 平成 26 年 1 月 30 日 .
30. 大浦紀彦: Core Laboratory in JET to assess the wounds for clinical trial for Multidisciplinary clinical trial 「完結版: CLI に対する臨床評価指標」. JET2014, 東京, 平成 26 年 2 月 15 日 .
31. Ohura N: How to Evaluate Wound Healing and Use of Wounds Labs Japan-U.S. Synergies in Global Medical Device Evaluation & Innovation: Harmonization By Doing (HBD). CRT2014, Washington, Feb.24.2014.
32. 大浦紀彦: 栄養と褥瘡と創傷治癒 . 第 10 回日本褥瘡学会中部地方会学術集会, 浜松, 平成 26 年 3 月 2 日 .
33. 大浦紀彦: 心臓・大血管手術後創傷への挑戦 NPWT をどう使うか . VAC Summit 2014, 東京, 平成 26 年 3 月 29 日 .

論文

1. 大浦紀彦, 清家志円, 加賀谷優, 多田明子, 多久嶋亮彦, 波利井清紀: 栄養状態の評価と治療法 創傷の評価と治療法の選択 . 形成外科 56 :945-955, 2013.
2. 大浦紀彦, 栗田昌和, 菅浩隆: ほかに褥瘡発生のメカニズム 褥瘡の周術期管理 特集 形成外科における手術スケジュールエキスパートの周術期管理 . PEPARS , 83 : 77-84, 2013.
3. 大浦紀彦, 江藤ひとみ, 木村勇亮, 加賀谷優, 芝崎由佳, 梶谷彩奈, 多久嶋亮彦, 波利井清紀: 外用薬と創傷被覆材による創傷の保存的治療 . PEPARS , 82 : 25-32, 2013.
4. 安井佑, 木下幹雄, 栗田恵里奈, 佐藤大介, 大浦紀彦: 全身性炎症反応症候群を呈した重症感染性足壊疽に対し二期的切断術が有用であった 2 例 . 形成外科 57 (3) : 303-309, 2014.
5. 江藤ひとみ, 大浦紀彦, 木村勇亮, 芝崎由佳, 梶谷彩奈, 多久嶋亮彦, 波利井清紀: 急性創傷に対して縫合か創傷被覆材のみで十分かを見極めるポイント . 薬局 64: 55-58, 2013.

著書

1. 大浦紀彦: 深化した TIME による褥瘡ケーススタディ . 第 2 章 2 壊死・不活性組織 . 監修田中マキ子, 照林社, 2013.
2. 大浦紀彦, 細川直登, 清家志円, 加賀谷優, 多久嶋亮彦: VIII 皮膚軟部組織感染症 全身性皮膚軟部組織感染症 ガス壊疽 別冊 日本臨牀 新領域別症候群シリーズ感染症症候群 (第 2 版) 下 No. 25, 2013, p523
3. 大浦紀彦: 68 局所陰圧閉鎖療法 ORTHOPLASTIC SURGERY 四肢再建手術の実例 監修 平瀬雄一 矢島弘嗣 , 克誠堂, 2013, p270
4. 大浦紀彦: 2 局所治療を理解する 3 免荷 最新版 ナースのための糖尿病フットケア技術 . 宮路良樹 真田弘美 大江真琴, メディカルレビュー社, 2013, p208-217

生命支援工学研究室

口 演

1. Isoyama T, Ariyoshi K, Nii K, Saito I, Fukunaga K, Inoue Y, Ono T, Ishii K, Hara S, Imachi K, Takai M, Abe Y: Emergency Life Support System aiming preprimed oxygenator, 35th Annual International Conference of the IEEE EMBS, Osaka, Jul. 3-7, 2013.
2. Hoshihara T, Fukunaga K, Onuki M, Nakajima A, Shimazu H, Funakubo A, Fukui Y: Diffuserless catheter pump for right ventricular support – Evaluation of experimental model, 21st Congress of the International Society for Rotary Blood Pumps, Yokohama, Sep. 26-28, 2013.
3. Sumikura H, Ohnuma K, Fukunaga K, Ohgoe Y, Homma A, Funakubo A, Fukui Y: Improvement and in vitro evaluation of an axial flow blood pump with a hydrodynamic bearing and an enclosed impeller, 21st Congress of the International Society for Rotary Blood Pumps, Yokohama, Sep. 26-28, 2013.
4. Onuki M, Fukunaga K, Hoshihara T, Saito I, Isoyama T, Abe Y, Yambe T, Funakubo A, Fukui H: Reduction of eccentric force applied to impeller by two pairs of ports arranged axisymmetrically in cascade pump, 5th Congress of the International Federation for Artificial Organs, Yokohama, Sep. 27-29, 2013.
5. 福長一義: 臨床工学技士の教育と研究, 日本生体医工学会北海道支部第 43 回生体医工学研究会, 札幌, 平成 25 年 11 月 29 日.
6. 大貫雅也, 福長一義, 星原卓弥, 斎藤逸郎, 磯山隆, 阿部裕輔, 山家智之, 嶋津秀昭, 舟久保昭夫, 福井康裕: カスケードポンプのインペラに加わる偏心力の軽減に関する研究と偏心力測定, 第 42 回人工心臓と補助循環懇話会学術集会, 越後湯沢, 平成 26 年 3 月 7 - 8 日.

論 文

1. Ohgoe Y, Hiratsuka M, Sumikura H, Fukunaga K, Homma A, Hirakuri KK, Funakubo A, Fukui Y: Improved hemolytic performance of blood with fluorine-doped hydrogenated amorphous carbon coating. *Advances in Chemical Engineering and Science* 3: 10-16, 2013.
2. Sawa Y, Tatsumi E, Tsukiya T, Matsuda K, Fukunaga K, Kishida A, Masuzawa T, Matsumiya G, Myoui A, Nishimura M, Nishimura T, Nishinaka T, Okamoto E, Tokunaga S, Tomo T, Yagi Y, Yamaoka T: *Journal of Artificial Organs* 2012: the year in review. *J Artif Organs* 16: 1-8, 2013.
3. Fukunaga K, Onuki M, Ohtsuka Y, Hirano T, Sakai K, Ohgoe Y, Katoh A, Yaguchi T, Funakubo A, Fukui Y: Blood viscometer applying electromagnetically spinning method. *J Artif Organs* 16: 368-375, 2013.

著 書

1. 福長一義: 補助循環. 第 1 種 ME 技術実力検定試験テキスト. 第 1 種 ME 技術実力検定試験テキスト編集委員会, 東京, 第 1 種 ME 技術実力検定試験テキ

5. 大浦紀彦: 糖尿病性潰瘍 (非虚血) 痛みの診療ベストプラクティス. 監修 小川節郎 牛田享宏, メディカルレビュー社, 2013, p100
6. 大浦紀彦: 手術室 特集「特殊ユニット 他のチーム医療から考える褥瘡ケア」総説. *WOC Nursing*, 2014 年 4 月号.
7. 大浦紀彦: あなたの? にズバリお答えします! 栄養療法のギモン Q&A100+9 臨床応用編【第 7 章】褥瘡 / 高齢者 / 低栄養 褥瘡患者の経腸栄養の際の注入体位と時間で注意することは何? (Q&A/ 特集). 2013 春季増刊, 2013, p221
8. 大浦紀彦, 安田浩: 褥瘡治療の "今さら聞けない!" かんたん理解! ドレッシング材 & 外用剤 ドレッシング材と外用剤の使い方・"現実的な" ギモン解決 Q&A(Q&A/ 特集) *Expert Nurse*, 29 (4): 2013, P104-107
9. 大浦紀彦: 褥瘡治療の "今さら聞けない!" かんたん理解! ドレッシング材 & 外用剤 これだけはおさえておきたい! "見てわかる" 選択基準 ドレッシング材 3 つのタイプと選択 (解説 / 特集), *Expert Nurse*, 29 (4): 2013, P88-95.
10. 大浦紀彦: 褥瘡治療の "今さら聞けない!" かんたん理解! ドレッシング材 & 外用剤 これだけはおさえておきたい! 忘れてはいけない! 褥瘡治療の 3 つの前提 (解説 / 特集). *Expert Nurse*, 29 (4): 2013, P83-87
11. 木村勇亮, 大浦紀彦, 梶谷彩奈, 多田朋子, 菅浩隆, 多久嶋亮彦, 波利井清紀: 足潰瘍・壊疽の局所療法, 総合リハビリテーション, 42 (4): 2014, P305-312
12. 菅浩隆, 大浦紀彦: 消化器外科医必修! 「形成外科」のエッセンス 形成外科の基本手技 褥瘡 (解説 / 特集) 68(3): 2014, P321-324.

その他

1. 大浦紀彦: 編集 看護技術がみえる vol.1 基礎看護技術 第 1 版 メディックメディア.
2. 大浦紀彦: 企画編集 特殊ユニット 他のチーム医療から考える褥瘡ケア *WOC Nursing*, 2014 年 4 月号.
3. 大浦紀彦: 学会主催 第 6 回東京 CLI の会. 東京, 平成 25 年 4 月 12 日.
4. 大浦紀彦: 学会主催 第 7 回東京 CLI の会. 東京, 平成 25 年 7 月 4 日.
5. 大浦紀彦: 学会主催 第 8 回東京 CLI の会. 東京, 平成 25 年 10 月 3 日.
6. 大浦紀彦: 学会主催 第 9 回東京 CLI の会. 東京, 平成 26 年 1 月 23 日.
7. 大浦紀彦: 学会主催 多摩地区下肢救済フットケア研究会, 東京, 平成 25 年 8 月 10 日.
8. 大浦紀彦: 学会主催 多摩地区 CLI カンファレンス, 東京, 平成 25 年 11 月 16 日.
9. 大浦紀彦: 学会主催 第 2 回 Tama Limb Salvage and Wound Care Nursing Network, 東京, 平成 26 年 2 月 1 日.

スト編集委員会, 2013. p.232-240.

受賞

1. 米窪貴光, 大貫雅也, 福長一義: 遠心血液ポンプへの誘導カップリングの応用. ライフサポート学会奨励賞.

先端臨床工学研究室

口 演

1. 中島章夫, 鈴木哲治, 水島岩徳, 萬知子: 手術室環境における電気メスからの電磁波エネルギー定量測定システムの開発, 東京, 第 88 回日本医療機器学会大会, 平成 24 年 6 月 8 日
2. 中島章夫, 須田健二, 中村淳史: 医療機器製造販売業者による院内保守点検に関する調査, 東京, 第 88 回日本医療機器学会大会, 平成 25 年 6 月 8 日
3. 中島章夫: 安全の基礎とトラブル事例～医療機器を安全に扱うための電気の基礎知識～, 第 35 回 ME 技術講習会, 札幌, 平成 25 年 6 月 29 日
4. 中島章夫: 治療機器の原理・取扱い上の注意と保守点検, 第 6 回 MDIC 認定セミナー, 東京, 平成 25 年 9 月 28 日
5. 中島章夫: コンピュータ・情報セキュリティの基礎, 第 6 回 MDIC 認定セミナー, 東京, 平成 25 年 9 月 29 日
6. 中島章夫: 医用レーザーの基礎, 日本レーザー医学会 安全教育セミナー, 東京, 平成 25 年 11 月 10 日.
7. 中島章夫, 佐藤俊一: 医用レーザー機器の安全, 第 28 回レーザ安全スクール, 東京, 平成 25 年 11 月 20 日
8. 中島章夫, 水島岩徳, 萬知子: 電気メス放射電磁波測定用アンテナ及び計測システムの開発, 第 42 回杏林医学会総会, 三鷹, 平成 25 年 11 月 16 日

著 書

1. 中島章夫: 臨床工学講座 医用電気工学 1: 中島章夫編・著, 東京, 医歯薬出版 (株), 平成 25 年, P1-66, P139-152.
2. 中島章夫: 臨床工学講座 生体物性・材料工学: 中島章夫編・著, 東京, 医歯薬出版 (株), 平成 25 年, P1-6.
3. 中島章夫: VI. 関係法規, 臨床工学技士標準テキスト 第 2 版増補: 東京, 医歯薬出版 (株), 平成 25 年, P649-695.
4. 中島章夫: 臨床工学講座 関係法規, 中島章夫編・著, 東京, 医歯薬出版 (株), 平成 25 年, P19-30, P87-98.
5. 中島章夫: 臨床工学講座 医用電気工学 2, 中島章夫編・著, 東京, 医歯薬出版 (株), 平成 25 年, P73-112.

報告書

1. 中島章夫, 須田健二, 中村淳史, 中野壮階, 櫛引俊宏: 医療機器保守管理の適正実施にむけた諸課題の調査研究 1. 医療機器保守点検の日常点検チェック表作成に関する研究 (モデル事例: 輸液ポンプ), 平成

25 年度厚生労働科学研究費補助金 (地域医療器版開発推進研究事業) 分担研究報告書.

生理・生体・情報工学研究室

口 演

1. 嶋津秀昭: 理解すべき工学的基礎知識 I. 第 19 回第 1 種 ME 技術実力検定試験講習会, 東京, 平成 25 年 4 月 7 日.
2. 嶋津秀昭: 痛みの定量評価の基本と実験的・臨床的痛み評価および痛み定量評価システム, TH 企画セミナーセンター, 東京, 平成 25 年 8 月 28 日.
3. 嶋津秀昭: 知覚痛覚定量分析装置 PainVision の原理と新たな展開. 第 44 回日本看護学会成人看護 I 学術集会, 和歌山, 平成 25 年 10 月 24 日.
4. 木暮英輝, 瀬野晋一郎, 渡辺篤志, 加藤幸子, 小林博子, 嶋津秀昭: 生体電気インピーダンス法による簡易呼吸機能モニタの開発. 第 43 回杏林医学総論, 三鷹, 平成 25 年 11 月 16 日.

著 書

1. 嶋津秀昭: 臨床工学技士に薦める今月の一冊: 翻訳人体物理学. Clinical Engineering 11. 許俊鋭編. 東京, 学研メディカル秀潤社, 2013. p.1194.
2. 嶋津秀昭: 輸液ポンプを理解するために: 液滴の物理. Clinical Engineering 12. 廣瀬稔編. 東京, 学研メディカル秀潤社, 2013. p.1253-1255.
3. 嶋津秀昭: システム工学. 臨床工学技士標準テキスト (第 2 版増補). 小野哲章, 峰島三千男, 堀川宗之, 渡辺敏編集. 東京, 金原出版株式会社, 2014. 203-212.
4. 嶋津秀昭: 医用機械工学. 臨床工学技士標準テキスト (第 2 版増補). 小野哲章, 峰島三千男, 堀川宗之, 渡辺敏編集. 東京, 金原出版株式会社, 2014. 213-234.
5. 嶋津秀昭: 医用機器安全管理学. 臨床工学技士標準テキスト (第 2 版増補). 小野哲章, 峰島三千男, 堀川宗之, 渡辺敏編集. 東京, 金原出版株式会社, 2014. 488-494.

血液浄化療法学研究室

口 演

1. 鈴木祥史, 須田健二, 松山幸枝, 寺田知新, 恵良聖一, 副島昭典: 血漿アルブミンの還元化率を改善する薬剤投与法の検討. 第 56 回日本腎臓学会総会, 東京, 平成 25 年 5 月 10 日.
2. 菊田雅宏, 五十嵐友, 須田健二, 鈴木祥史, 副島昭典: ダイアライザー内での血液凝固の予知に関する実験的研究. 第 56 回日本腎臓学会総会, 東京, 平成 25 年 5 月 10 日.
3. 須田健二, 菊田雅宏, 五十嵐友, 鈴木祥史, 嶋津秀昭, 副島昭典: 血液透析における抜針検知システムに関する基礎検討. 第 65 回三多摩腎疾患治療医会, 東京, 平成 25 年 6 月 9 日.

4. 鈴木祥史, 石井悠衣, 須田健二, 松山幸枝, 恵良聖一, 副島昭典: 血漿アルブミンを還元する N-アセチルシステインの有効濃度と貯蔵安定性の検討. 第 25 回腎とフリーラジカル研究会, 東京, 平成 25 年 10 月 6 日.
5. 鈴木祥史, 須田健二, 松山幸枝, 寺田知新, 恵良聖一, 副島昭典: 赤血球寿命に影響を与える血漿の還元能とその改善に関する実験的検討. 第 22 回腎とエリスロポエチン研究会, 東京, 平成 25 年 11 月 16 日.
6. 五十嵐友, 菊田雅宏, 山内大輔, 須田健二, 鈴木祥史, 副島昭典: 血液透析における実血流量測定法に関する実験的研究. 第 66 回三多摩腎疾患治療医会, 東京, 平成 25 年 12 月 8 日.

論文

1. 鈴木祥史, 須田健二, 松山幸枝, 寺田知新, 恵良聖一, 副島昭典: 水素水および還元薬剤を添加した透析液を用いたアルブミンの透析とその効果. 腎とフリーラジカル第 11 集 162-167, 2013.

著書

1. 副島昭典: CBT こあかり 5 リ・コ 2013. (分担執筆), 医学評論社, 東京, 2013.
2. 副島昭典, 小池秀海, 石山陽事, 嶋津秀昭, 四倉正之, 飯田加奈恵, 三谷博子: 疾患への理解を深める病態生理学. 副島昭典, 小池秀海 編著 東京医学社, 東京, 2013.
3. 副島昭典: 第 107 回医師国家試験問題解説書. (分担執筆), 医学評論社, 東京, 2013.
4. 副島昭典: CBT こあかり 2014. (分担執筆), 医学評論社, 東京, 2013.
5. 副島昭典: 国試カンファレンスーあなむね. (分担執筆), 医学評論社, 東京, 2013.

報告書

1. 石田陽一, 中村裕之, 副島昭典, 川端雅彦, 供田文宏, 金木潤: カドミウムによる近位尿細管機能異常ならびに慢性腎臓病に関する研究. 平成 24 年度環境省委託業務報告書, イタイイタイ病及び慢性カドミウム中毒に関する総合的研究 p322-340, 2013.

循環器病態生理学研究室

口演

1. 吉野秀朗¹, 佐藤徹¹, 四倉正之, 坂田好美¹, 副島京子¹ (¹杏林大・医・第二内科): 日常臨床における循環器 Q & A. 第 29 回府中市医師会循環器勉強会. 府中, 平成 25 年 5 月 20 日.
2. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 平成 25 年 9 月 26 日.
3. 吉野秀朗¹, 佐藤徹¹, 四倉正之, 坂田好美¹ (¹杏林大・医・第二内科): 日常臨床における循環器 Q & A. 第 30 回府中市医師会循環器勉強会. 府中, 平成 25 年 10 月 28 日.
4. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 平成 25 年 11 月 29 日.
5. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演

会. 三鷹, 平成 26 年 1 月 24 日.

6. 四倉正之: 心電図の読み方. 三鷹市医師会学術講演会. 三鷹, 平成 26 年 2 月 28 日.

論文

1. 向田宏¹, 中村淳史, 山本裕美子¹, 猪谷卓弘¹, 天野篤², 代田浩之³ (¹順天堂大・臨床工学室, ²順天堂大・心臓血管外科, ³順天堂大・循環器内科): 糖尿病患者における常温人工心肺中のヘモグロビン酸素解離能からみた酸素需給バランス. 体外循環技術 40:139-148, 2013.
2. 中島章夫, 須田健二, 中村淳史, 中野壮隆¹, 櫛引俊宏² (¹公益財団法人医療機器センター, ²防衛医科大学校): 医療機器保守点検の日常点検チェック表作成に関する研究 (モデル事例: 輸液ポンプ). 医療機器保守管理の適正実施にむけた諸課題の調査研究 平成 25 年度 総括・分担研究報告書, 厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業 (H24-医療-指定-047): 3-29, 2014.
3. 中島章夫, 須田健二, 中村淳史, 中野壮隆¹, 櫛引俊宏² (¹公益財団法人医療機器センター, ²防衛医科大学校): 医療機器保守点検の日常点検チェック表作成に関する研究 (モデル事例: 輸液ポンプ). 医療機器保守管理の適正実施にむけた諸課題の調査研究 平成 24 年度～平成 25 年度 総括研究報告書, 厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業 (H24-医療-指定-047): 91-138, 2014.
4. 四倉正之: 航空機騒音と虚血性心疾患の関係について. 航空機環境研究 18:72-75, 2014.

著書

1. 四倉正之: 循環器系. 疾患への理解を深める病態生理学. 副島昭典, 小池秀海編. 東京, 東京医学社, 2013, p.45-121.

基礎理学療法学研究室

口演

学会発表

1. 一場友実, 市川貴文¹, 鴨下旺史², 原崎至人³, 藤田祥平⁴, 芝原美由紀, 石井博之, 八並光信 (¹北里大学東病院, ²季美の森整形外科, ³姫島クリニック, ⁴浅草病院): トレッドミル走行時の呼吸リズム調節による呼吸循環応答及び主観的疲労感の変化. 第 48 回日本理学療法学会学術大会, 愛知, 平成 25 年 5 月 24 日 -26 日.
2. 芝原美由紀, 八並光信, 一場友実, 齊藤利恵, 塩野谷巧嘉¹ (¹愛知県心身障害児療育センター第 2 青い鳥学園): 肢体不自由児の体育・スポーツ活動の現状と課題. 第 48 回日本理学療法学会学術大会, 愛知, 平成 25 年 5 月 24 日 -26 日.
3. Tetuo Miyagawa¹, Tomomi Ichiba, Masayuki Takahashi², (¹Showa Univ, ²Home Care Product Division, Tokibo Co.LTD.): Is cough with high frequency chest wall oscillation(HFCWO) effective on the differences of mucus rheological property, driving

pressure? 23th European Respiratory Society Annual Congress, Spain, Sep. 7-11, 2013.

4. 石井博之：世界最先端の日本リハビリ医療，第7回中国国際障害者・高齢者用品用具・リハビリ&介護設備博覧会，中国 北京，平成25年10月10日-12日。講習会講師
1. 石井博之：羽村市サイクリング講習会，自転車の魅力と運動効果，平成25年5月10日。
2. 宮川哲夫¹，一場友実（¹昭和大・保健医療）：体位排痰法。埼玉県看護協会継続教育研修会，埼玉，平成25年6月14日。28日。7月18日。25日。
3. 石井博之：羽村市健康講座 骨粗鬆症セミナー，骨太教室 運動編 骨の健康づくり～体を動かして丈夫な骨を保つ～，平成25年7月24日。
4. 石井博之：理学療法士協会東京都士会新人教育プログラム，国際社会と理学療法，平成25年9月7日。
5. 石井博之：いちよう塾 公開講座，運動の魅力と効能～自分の体と仲良くして充実した人生を送るために～，平成25年10月19日。
6. 石井博之：はむら健康の日 健康講座，ロコモティブシンドローム～健康で活力ある人生を送るために。

著 書

1. 石井博之：体容量指数（BMI）と自己評価及び実行に基づくバランスと運動能力の関連性について（文献抄録），理学療法ジャーナル 47（7）：660，2013。
2. 一場友実：呼吸法と座位姿勢がCOPD患者の吸気補助筋の筋活動に与える影響（文献抄録），理学療法ジャーナル 47（7）：660，2013。
3. 一場友実：COPD患者の動的肺過膨脹に対する吸気筋トレーニングの効果（文献抄録），理学療法ジャーナル 47（11）：1044，2013。

学会主催

1. 石井博之：JOCVリハビリテーションネットワークセミナー主催，東京，平成26年2月8日。

その他

1. 石井博之：地域交流推進室副室長。
2. 石井博之：JOCV（青年海外協力隊）リハビリテーションネットワーク代表。
3. 石井博之：羽村市ボタリングクラブ顧問。
4. 石井博之：東日本大震災 復興ボランティア，平成25年4月27日・28日・5月25日・26日・6月8日・9日・7月13日・14日・8月31日・9月1日・21日・22日・12月28日・29日。

運動障害系理学療法学研究室

口 演

1. 村上幸士，齋藤昭彦：安静時と収縮時における腹横筋筋硬度の比較～超音波診断装置 Real-time Tissue Elastography を用いて～，第48回日本理学療法学術大会，名古屋，平成25年5月24-26日。
2. 榎本雪絵：介護予防・重度化予防につながる生活リハビリ～自立支援と生活の在り方。青梅市役所，東

京，平成25年7月1日。

3. 榎本雪絵：健やかな生活が続けるために。八王子市地域包括支援センター子安，東京，平成25年7月14日。
4. 榎本雪絵：安全に運動を行うために：水分摂取と栄養補給。八王子市地域包括支援センター子安，東京，平成25年7月27日。
5. 榎本雪絵：安全に運動を行うために：脈拍について。八王子市地域包括支援センター子安，東京，平成25年8月10日。
6. 榎本雪絵：安全に運動を行うために：血圧について。八王子市地域包括支援センター子安，東京，平成25年8月24日。
7. 榎本雪絵：安全に運動を行うために：呼吸について。八王子市地域包括支援センター子安，東京，平成25年9月14日。
8. 榎本雪絵：安全に運動を行うために：ストレッチについて。八王子市地域包括支援センター子安，東京，平成25年9月28日。
9. 榎本雪絵：効果的なトレーニングのために：目標設定について。八王子市地域包括支援センター子安，東京，平成25年10月12日。
10. 村上幸士，吉川幸次郎¹（¹関東リハビリテーション専門学校）：大腿直筋への microwave 照射における筋温の変化，第21回日本物理療学会学術集会，平成25年10月19-20日。
11. 榎本雪絵：効果的なトレーニングのために：運動の種類と強度について。八王子市地域包括支援センター子安，東京，平成25年11月9日。
12. 榎本雪絵：健やかな生活が続けるための運動のポイント。杏林医学会平成25年度市民公開講座，東京，平成25年11月16日。
13. 榎本雪絵：平岡町健幸教室の紹介。医療と介護と地域をつなぐ会第9回フォーラム，東京，2014年3月16日。
14. 井出大¹，木野田典保¹，榎本雪絵，大澤吉隆²，他（¹医療法人社団永生会，²八王子市役所介護保険課）：ケアマネジャー対象のリハビリテーションに着目したケアプラン作成演習による研修会の試み・リハビリテーション・ケア合同研究大会，千葉，平成25年11月23日。
15. 榎本雪絵：効果的なトレーニングのために：運動時間と頻度について。八王子市地域包括支援センター子安 東京 平成25年12月14日。
16. 榎本雪絵：効果的なトレーニングのために：体力測定について。八王子市地域包括支援センター子安 東京 平成25年1月11日。
17. 榎本雪絵：効果的なトレーニングのために：骨と関節について。八王子市地域包括支援センター子安，東京，平成25年1月25日。
18. 榎本雪絵：効果的なトレーニングのために：骨と関節の加齢について。八王子市地域包括支援センター子安，東京，平成25年2月8日。
19. 榎本雪絵：効果的なトレーニングのために：骨と関

節の加齢について. 八王子市地域包括支援センター子安, 東京, 平成 26 年 2 月 8 日.

20. 榎本雪絵: 効果的なトレーニングのために: 関節の動きの維持と改善について. 八王子市地域包括支援センター子安, 東京, 平成 26 年 3 月 22 日.

論文

1. 村上幸士: 慢性腰痛患者の臨床筋肉検査における腹横筋と腰部多裂筋との関係性. 理学療法ジャーナル 47(4): 364, 2013.
2. 村上幸士: 腰椎・骨盤痛の有無における腹壁筋および結合組織の特徴に関する超音波画像での比較. 理学療法ジャーナル 47(11): 1044, 2013.
3. 齋藤昭彦, 村上幸士: 超音波画像を用いた体幹の評価. 理学療法 31(1): 41-47, 2013.

著書

1. 齋藤昭彦, 榎本雪絵, 橋立博幸: よくわかる理学療法の検査・測定・評価 齋藤昭彦編著, 東京, 秀和システム, 2013.

小児発達障害系理学療法学研究室

口演

1. 芝原美由紀, 八並光信, 一場友実, 斉藤利恵, 塩之谷巧嘉: 肢体不自由児の体育・スポーツ活動の現状と課題 第 48 回日本理学療法学会大会, 名古屋, 平成 25 年 5 月 24 - 26 日.
2. 一場友実, 市川貴文, 鴨下旺央, 原崎至人, 藤田祥平, 芝原美由紀, 石井博之, 八並光信: トレッドミル走行時の呼吸リズム調節による呼吸循環応答及び主観的疲労感の変化 第 48 回日本理学療法学会大会, 名古屋 平成 25 年 5 月 24 - 26 日.
3. 八並光信, 斉藤利恵, 芝原美由紀, 倉林準, 門馬博, 一場友実: 在宅介護者の睡眠の質とメンタルヘルスおよび介護負担感について 第 48 回日本理学療法学会大会, 名古屋 平成 25 年 5 月 24 - 26 日.
4. Shibahara M, Makita M, Tujimura S: The current status of sports participation by children with physical disabilities and mothers' expectations, WCPT-AWP&ACPT Congress 2013, Taichung, Taiwan, Sep. 5 - 9, 2013.
5. Shoko Tijimura, Mitsuyo Makita, Miyuki Shibahara: The current status of sports participation by children with physical disabilities and mothers' expectations and anxieties, 10th International Biophilia Rehabilitation Conference(IBRC), Chieti University, Italy, October 14, 2013.
6. 芝原美由紀: 肢体不自由児の装具 スポーツ時の課題 第 29 回日本義肢装具学会学会大会, 佐賀, 平成 25 年 10 月 26 - 27 日.
7. 橋立博幸, 原田和宏, 潮見泰蔵, 中野尚子, 藤澤祐基, 笹本憲男: 慢性期脳卒中者の下肢筋力, 姿勢バランス, 歩行機能に対する 12 か月間の運動器機能向上プログラムの長期介入効果. 第 48 回日本理学療法学会大会, 名古屋, 平成 25 年 5 月 24- 26 日.

8. 儀間裕貴, 大橋浩輝, 渡辺はま, 中野尚子, 木原秀樹, 多賀厳太郎: 新生児における自発運動の Lyapunov spectrum analysis. 新学術領域全体会議, 東京, 平成 25 年 6 月 18 日.
9. 中野尚子: 成人脳性麻痺の評価と治療, さいたますみずき園, 埼玉, 平成 25 年 7 月 30 日.
10. 中野尚子: 脳性麻痺児の治療, 脳性麻痺 8 週間講習会, 東京, 平成 24 年 8 月 1 日.
11. 中野尚子: 脳性麻痺児の治療, 脳性麻痺 8 週間講習会, 東京, 平成 24 年 8 月 15 日.
12. Hisako Nakano, Hideki Kihara, Nao Kanemaru, Hama Watanabe, Tomohiko Nakamura, Junji Nakano, Gentaro Taga, Yukuo Konishi: Spontaneous movements at term in preterm infants who developed cerebral palsy. WCPT-AWP & ACPT Congress「アジア理学療法学会」Taichung, Taiwan, 平成 25 年 9 月 5-9 日.
13. Hideki Kihara, Hisako Nakano, Nao Kanemaru, Hama Watanabe, Tomohiko Nakamura, Junji Nakano, Gentaro Taga, Yukuo Konishi: Specific characteristics of spontaneous movements in preterm infants at term age are associated with developmental delays at age 3 years. WCPT-AWP & ACPT Congress「アジア理学療法学会」, Taichung, Taiwan, 平成 25 年 9 月 5-9 日.
14. 中野尚子: 理学療法と理学療法士の仕事について. 上智大学言語聴覚研究センター, 東京, 平成 25 年 10 月 5 日.
15. 中野尚子: 新生児の評価 general movements (GMs). 理学療法士講習会「NICU における理学療法」. 安曇野, 平成 25 年 10 月 13 日.
16. 中野尚子: 新生児の理学療法—新生児の発達支援—. 理学療法士講習会「NICU における理学療法」. 安曇野, 平成 25 年 10 月 13 日.
17. 大西未紗, 橋立博幸, 川上大地, 阿部正博, 藤澤祐基, 中野尚子, 潮見泰蔵: 異なる足部重錘負荷による歩行時の下肢および腰部の筋活動の変化. 第 32 回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 千葉市 25 年 11 月 2-3 日.
18. 橋立博幸, 大西未紗, 川上大地, 阿部正博, 藤澤祐基, 中野尚子, 潮見泰蔵: 健康な若年者における足部重錘負荷が歩行周期の変動に及ぼす影響. 第 32 回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 千葉市 25 年 11 月 2-3 日.
19. 中野尚子: 小児理学療法, 国立障害者リハビリテーションセンター, 埼玉, 平成 26 年 1 月 21 日.
20. 中野尚子: fidgety movements と 6 歳時発達予後の関連性について. GMs 研究会, 東京, 平成 26 年 2 月 22 日.

論文

1. 斎藤利恵, 八並光信, 芝原美由紀, 門馬博, 鈴木輝美, 三宅英司, 三浦雅文, 丹羽正利: 在宅における介護と睡眠の関連性について Actigraph を用いた睡眠分析 日本運動障害研究会機関誌 Vol.23, No.2 75 - 80, 2013.
2. 牧田光代, 芝原美由紀, 栗生田博子, 蒔田寛子: 障

害児のスポーツ参加と母親の気持ち 母親支援のための支援者連携に向けて. 日本保健医療福祉連携 5 巻 2 号 89 - 90, 2013.

3. Kanemaru, N., Watanabe, H., Kihara, H., Nakano, H., Takaya, R., Namkamura, T., Nakano, J., Taga, G., & Konishi, Y., "Specific characteristics of spontaneous movements in preterm infants at term age are associated with developmental delays at age 3 years.", *Developmental Medicine and Child Neurology*, 55, 713-721, August 2013.

著 書

1. 中野尚子：低出生体重児・リスク児. 小児理学療法テキスト, 上杉雅之 (監修), 東京医歯薬出版 平成 25 年, 201 - 219
2. 中野尚子：脳性麻痺の合併症と治療：聴覚障害に対する対応は？脳性麻痺リハビリテーションガイドライン第 2 版, 社団法人日本リハビリテーション医学会, 東京医学書院, 平成 26 年, 214
3. 中野尚子：脳性麻痺の合併症と治療：視覚障害・視覚障害に対する対応は？脳性麻痺リハビリテーションガイドライン第 2 版, 社団法人日本リハビリテーション医学会, 東京医学書院, 平成 26 年, 215-216

神経障害系理学療法学研究室

口 演

学会発表

1. 橋立博幸, 原田和宏, 潮見泰藏, 中野尚子, 藤澤祐基, 笹本憲男：慢性期脳卒中者の下肢筋力, 姿勢バランス, 歩行機能に対する 12 か月間の運動器機能向上プログラムの長期介入効果. 第 48 回日本理学療法学術大会, 愛知, 平成 25 年 5 月 24 日.
2. 橋立博幸, 大沼剛, 澤田圭祐, 阿部勉：屋外活動が困難な在宅高齢者における屋内および屋外の生活空間と移動・移乗動作の自立度との関連. 第 48 回日本理学療法学術大会, 愛知, 平成 25 年 5 月 25 日.
3. 橋立博幸, 澤田圭祐, 柴田未里, 浅野克俊, 嶋崎聡美, 千葉美幸：在宅高齢者における床からの立ち上がり動作の自立の可否と基本動作能力および身体機能との関連. 第 48 回日本理学療法学術大会, 愛知, 平成 25 年 5 月 26 日.
4. 大沼剛, 橋立博幸, 吉松竜貴, 阿部勉：地域在住の要支援・要介護高齢者における屋内生活空間評価の臨床的有用性と移動能力との関連. 第 48 回日本理学療法学術大会, 愛知, 平成 25 年 5 月 25 日.
5. 澤田圭祐, 橋立博幸, 大沼剛, 柴田未里, 浅野克俊, 嶋崎聡美, 千葉美幸：屋外活動が困難な在宅高齢者における屋内生活空間と床からの立ち上がり動作との関連. 第 48 回日本理学療法学術大会, 愛知, 平成 25 年 5 月 25 日.
6. 橋立博幸, 島田裕之, 古名丈人, 原田和宏, 潮見泰藏：85 歳以上の要支援高齢者の身体機能に対する通所介護での運動器機能向上プログラムが及ぼす短期的および中期的介入効果. 第 55 回日本老年医学会学

術集会, 大阪, 平成 25 年 6 月 6 日.

7. Hashidate H, Ohnuma T, Sawada K, Inoue T, Shimazaki S, Sasamoto N: Indoor life-space mobility correlates with outdoor life-space mobility in elderly individuals with difficulty to perform outdoor activities. 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics, Seoul, Korea, June 6, 2013.
8. Hashidate H, Shiomi T, Shimada H, Sasamoto N: Effects of 3-month combined functional training on lower extremity muscle strength and gait performance in community-dwelling individuals with chronic stroke hemiparesis. 20th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics, Seoul, Korea, June 6, 2013.
9. Hashidate H, Shiomi T, Shimada H, Sasamoto N: Effects of 6-month combined functional training on physical performances in community-dwelling individuals with chronic stroke. The 6th WCPT-AWP & 12th ACPT Congress 2013, Taichung, Taiwan, September 7, 2013.
10. 橋立博幸, 原田和宏, 二瓶健司, 山上徹也, 浅川康吉, 吉井智晴, 金谷さとみ：地域在住高齢者における軽度認知障害の有無による日常生活活動制限の差異. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 三重, 平成 25 年 10 月 24 日.
11. 原田和宏, 橋立博幸, 二瓶健司, 山上徹也, 浅川康吉, 吉井智晴, 金谷さとみ：軽度認知障害を有する在宅高齢者の行動心理症状と同居家族の介護負担感の関連. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 三重, 平成 25 年 10 月 24 日.
12. 二瓶健司, 橋立博幸, 原田和宏, 山上徹也, 浅川康吉, 吉井智晴, 金谷さとみ：軽度認知障害高齢者とアルツハイマー型認知症高齢者の日常生活活動制限に関する差異. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 三重, 平成 25 年 10 月 24 日.
13. 橋立博幸, 大西未紗, 川上大地, 阿部正博, 藤澤祐基, 中野尚子, 潮見泰藏：健康な若年者における足部重錘負荷が歩行周期の変動に及ぼす影響. 第 32 回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 千葉, 平成 25 年 11 月 2 日.
14. 大西未紗, 橋立博幸, 川上大地, 阿部正博, 藤澤祐基, 中野尚子, 潮見泰藏：異なる足部重錘負荷による歩行時の下肢および腰部の筋活動の変化. 第 32 回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 千葉, 平成 25 年 11 月 3 日.
15. 澤田圭祐, 橋立博幸, 浅野克俊, 嶋崎聡美, 佐野寛太, 長沼大, 笹本憲男：退院後の訪問リハビリテーションにより短期間で基本動作能力が改善した症例. 第 32 回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 千葉, 平成 25 年 11 月 2 日.
16. 大沼剛, 橋立博幸, 白水てるゑ, 阿部勉：訪問リハビリテーションを利用する脳血管障害者の屋内生活空間における活動の低下に転倒経験が及ぼす影響. 第 32 回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 千葉, 平成 25 年 11 月 2 日.
17. 妹尾浩一, 橋立博幸：障害者支援施設に入所した維

時期脳卒中片麻痺者の歩行機能に対するリハビリテーション効果とその関連因子. 第32回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 千葉, 平成25年11月2日.

18. 広瀬知宏, 澤田圭祐, 古屋仁美, 橋立博幸: 大腿骨転子部骨折を受傷した認知症高齢者における訪問リハビリテーションの効果についての一考察. 第17回山梨県理学療法士学会学術集会, 山梨, 平成25年11月24日.
19. 長沼大, 澤田圭祐, 浅野克俊, 古屋仁美, 橋立博幸: 高齢の封入体筋炎患者に対して修正 Borg Scale を用いた運動負荷量の設定による運動療法の効果. 第17回山梨県理学療法士学会学術集会, 山梨, 平成25年11月24日.
20. 妹尾浩一, 橋立博幸: 障害者支援施設に入所した半側空間失認を呈する維持期脳卒中者の歩行能力に対するリハビリテーション効果. 第9回東京都福祉保健医療学会, 東京, 平成25年12月18日.
21. 守口慎吾, 池内貴美, 橋立博幸, 山本久美, 堀内典生: 回復期リハビリテーション病棟に入院した脳卒中者では自宅退院の可否に退院後の独居時間が影響する. 回復期リハビリテーション病棟協会第23回研究大会, 愛知, 平成26年2月7日.
22. 須崎由香, 炭谷由計, 藤澤祐基, 栗山絹世, 長谷川純子, 塚田芳枝, 貞利彦, 村嶋俊隆, 犬飼浩二, 岡島康友, 大野秀樹, 石田均: 嫌気性代謝域値(AT)強度下での食後運動が2型糖尿病の血糖変動に及ぼす効果—CGMを用いた24時間血糖変動を指標として—. 第56回日本糖尿病学会年次学術集会, 熊本, 平成25年5月16-18日.
23. 藤澤祐基, 岡島康友, 山田深, 橋立博幸, 潮見泰藏: 小脳性運動失調症の3次元書字運動解析. 第43回日本臨床神経生理学会学術大会, 高知, 平成25年11月7-9日.

講演

1. 潮見泰藏: 基本動作確立のための介入方法—脳卒中患者を対象として—. 秋田県理学療法士協会中央ブロック研修会, 秋田, 平成25年6月8日.
2. 潮見泰藏: 中枢神経疾患に対する課題志向型アプローチ. 北九州臨床リハビリテーション勉強会, 小倉, 平成25年7月28日.
3. 潮見泰藏: 「中枢神経疾患に対する根拠に基づく理学療法」平成25年度北海道千歳リハビリテーション学院卒後支援講習会, 旭川, 平成25年8月24日.
4. 潮見泰藏: 脳卒中患者に対する基本的理学療法の進め方. 日本理学療法士協会主催理学療法士講習会, 三鷹, 平成25年9月8日.
5. 潮見泰藏: 脳卒中患者に対する機能的運動 課題達成のための治療戦略. 沖縄県理学療法士協会主催沖縄理学療法講習会, 那覇, 平成24年10月27日.
6. 潮見泰藏: 脳傷害後の機能回復と運動学習 一課題指向型アプローチを背景に一大分県理学療法士協会主催平成25年度研修会, 大分, 平成24年11月9日.
7. 潮見泰藏: 専門教育水準. 認定理学療法士必須研

修会(教育管理系専門領域), 日本理学療法士協会教育管理系専門領域研究部会, 東京, 平成25年11月24日.

8. 潮見泰藏: 脳卒中に対する課題指向型アプローチに基づく理学療法介入. 平成23年度鹿児島県理学療法士会研修会, 鹿児島, 平成23年12月15日.
9. 潮見泰藏: 専門教育水準. 第40回理学療法士・作業療法士養成施設等教員講習会, 東京, 平成26年1月29日.
10. 潮見泰藏: 脳卒中に対する課題指向型トレーニング—その理論と実際—. 福岡青州会病院リハビリテーションセミナー, 福岡, 平成26年2月1日.
11. 潮見泰藏: 理学療法(士)教育の推移, 現状, 課題. 日本理学療法士協会主催教育研究会, 東京, 平成26年2月16日.
12. 潮見泰藏: 脳卒中に対する標準的理学療法介入, 武雄看護リハビリテーション学院卒業記念講演会, 武雄, 平成26年3月9日.

一般向け講演会

1. 橋立博幸: 高齢者が健やかに生活するための運動とリハビリテーション—介護の必要がない日常生活のために—. 八王子学園都市大学いちよう塾, 東京, 平成25年11月19日, 11月26日, 12月3日.

論文

1. 大沼剛, 橋立博幸, 吉松竜貴, 阿部勉: 地域在住の要支援・要介護高齢者に対する屋内生活空間における身体活動評価の臨床的有用性. 日老医誌 51; 151-160, 2014.

著書

1. 潮見泰藏: 脳血管障害. 臨床実習フィールドガイド(改訂第2版) 石川朗・他編 南江堂, 東京, 2014. P34-45.
2. 潮見泰藏: 第1章臨床実習の転換期を迎えて. セラピスト教育のためのクリニカル・クラークシップのすすめ(第2版) 中川法一編 三輪書店, 東京, 2013. P2-10.
3. 橋立博幸: 理学療法評価の意義と目的. よくわかる理学療法の検査・測定・評価. 齋藤昭彦編, 東京, 秀和システム, 2013. p11-70, p307-328.
4. 橋立博幸: 図表の書き方. 理学療法研究法. 内山靖, 島田裕之編, 東京, 医学書院, 2013. P160-167.

内部障害系理学療法学研究室

口演

1. 八並光信, 齋藤利恵, 芝原美由紀, 倉林準, 門馬博, 一場友美: 在宅介護者の睡眠の質とメンタルヘルス及び介護負担感について. 第48回日本理学療法学会学術大会, 愛知, 平成25年5月24-26日.
2. 門馬博, 八並光信: 大筋収縮イメージによる神経活動の変化は運動イメージ能力の評価法になりうるか. 第48回日本理学療法学会学術大会, 名古屋, 平成25年5月24-26日.
3. 土居健次朗¹, 遠藤辰明¹, 大森茂樹¹, 倉林準, 八

並光信（¹医療法人社団鎮誠会）：年代別にみた足部形態と足機能の特徴．第48回日本理学療法学術大会，名古屋，平成25年5月24-26日．

4. 内野翔太¹，土居健次朗¹，河原常郎¹，大森茂樹¹，倉林準，門馬博，八並光信（¹医療法人社団鎮誠会）：足関節背屈角度が着地時の下肢各関節に与える影響，第48回日本理学療法学術大会，名古屋，平成25年5月24-26日．
5. 遠藤辰明¹，土居健次朗¹，河原常郎¹，大森茂樹¹，倉林準，門馬博，八並光信（¹医療法人社団鎮誠会）：荷重時の内反小趾角増大群における足部形態の特徴．第48回日本理学療法学術大会，名古屋，平成25年5月24-26日．
6. 清田有希¹，大森茂樹¹，河原常郎¹，土居健次朗¹，倉林準，門馬博，八並光信（¹医療法人社団鎮誠会）：筋疲労回復におけるElectrical Muscle Stimulationの最適刺激間隔と周波数の検討．第48回日本理学療法学術大会，名古屋，平成25年5月24-26日．
7. 廣田正和¹，土居健次朗¹，河原常郎¹，大森茂樹¹，倉林準，門馬博，八並光信：垂直跳躍における動作効率性の検討～足位の変化に着目して～．第48回日本理学療法学術大会，名古屋，平成25年5月24-26日．
8. 関根康浩¹，大森茂樹¹，河原常郎¹，土居健次朗¹，倉林準，門馬博，八並光信（¹医療法人社団鎮誠会）：体幹回旋可動域と胸郭拡張差の関連．第48回日本理学療法学術大会，名古屋，平成25年5月24-26日．
9. 都丸哲也¹，野本達哉¹，團志朗¹，鬼塚俊朗¹，五十嵐有紀子¹，千野直一¹，高橋俊成¹，今村安秀¹，金森宏¹，門馬博，石濱裕規¹（¹永生会病院）：当院における下肢痙縮に対するボツリヌス治療（第二報）．第50回日本リハビリテーション医学会学術集会，東京，平成25年6月13-15日．
10. 團志朗¹，都丸哲也¹，五十嵐有紀子¹，千野直一¹，石濱裕規¹，金森宏¹，門馬博，鬼塚俊朗¹，野本達哉¹，高橋秀寿²，岡島康友²（¹永生会病院，²杏林大・医・リハ医学）：上肢痙縮患者へのボツリヌス治療の効果 肩関節への影響に関する検討．第50回日本リハビリテーション医学会学術集会，東京，平成25年6月13-15日．
11. 齋藤利恵，芝原美由紀，丹羽正利，八並光信：在宅介護者の介護負担と睡眠の質について．第47回日本作業療法学会，大阪，平成25年6月28日．
12. 門馬博：臨床実習における物理療法の体験はその後の物理療法への興味・関心を左右するか．第21回日本物理療法学会学術大会，横須賀，平成25年10月19-20日．

論文

1. 齋藤利恵，八並光信：在宅介護者の介護負担とメンタルヘルスおよび心理社会的要因について．PT-OT-ST Channel Online Journal 2(11):A2, 2013.
2. 齋藤利恵，八並光信，芝原美由紀，門馬博，鈴木輝美¹，三宅英司²，三浦雅文³，丹羽正利（¹東京医療学院大・理学療法，²永生クリニック，³群馬医療福

祉大・理学療法）在宅における介護と睡眠の関連性について－Actigraphを用いた睡眠分析－．運動障害研究会誌，23(2): 75-79, 2013.

3. 河原常郎，大森茂樹，倉林準，門馬博，八並光信：骨盤傾斜角度と歩行時の関節角度および重心移動との関連性．臨床バイオメカニクス 34: 233-237, 2013.
4. 土居健次朗，遠藤辰明，大森茂樹，倉林準，八並光信：足部内側縦アーチ高と歩行の関係～静的足部評価の有用性の検討～．臨床バイオメカニクス 34: 293-297, 2013.
5. 門馬博：属性の異なる運動イメージ能力評価法の相互関係性に関する検討．理学療法科学 29 (1): 45-50, 2014.
6. 團志朗¹，都丸哲也¹，五十嵐有紀子¹，石濱裕規¹，金森宏¹，門馬博，千野直一¹，高橋秀寿²，岡島康友²（¹永生会病院，²杏林大・医・リハ医学）：槌趾・足関節内反に対し，ボツリヌス療法が効を奏した1例．総合リハ 42(3): 261-264, 2014.

著書

1. 門馬博：ハイリスク児への呼吸理学療法はどのようなものが推奨できるか．NICUからのポジショニングは運動機能の予後に効果があるか．脳性麻痺リハビリテーションガイドライン第2版．日本リハビリテーション医学会監，東京，金原出版，2013，p.77, 81.

精神保健学教室研究室

口演

1. 田島治：向精神薬のトピックス．日本精神神経学会第7回生涯教育研修会．福岡，平成25年5月26日．
2. 田島治：薬物療法の留意点．日本うつ病学会第7回うつ病診療講習会．北九州，平成25年7月20日．
3. 田島治：多様なうつ病の薬物療法について考えるー最近の実践からー．第5回東京ベイ精神医療フォーラム．浦安，平成25年8月2日．
4. 田島治：最近のうつ病の動向と対応．第2回滋賀精神科医学会・第24回滋賀臨床行動科学研究会．大津，平成25年10月6日．
5. 田島治：多様なうつ病の理解と対応について考える．神戸市医師会平成25年度かかりつけ医うつ病対応力向上研修会．神戸，平成25年11月2日．
6. 田島治：多様なうつ病の病態と治療を再考する．第10回湘南精神科臨床懇話会．藤沢，平成25年11月9日．
7. 田島治：うつの救世主．エンジン 01 文化戦略会議オープンカレッジ in 甲府．甲府，平成25年11月30日．
8. 田島治：精神障がいについて．三鷹市社会福祉協議会平成25年度メンタルヘルスボランティア講座．三鷹，平成26年2月8日．
9. 田島治：うつ病の薬物療法再考ー抗うつ薬は何をするのかー．栃木県群馬県 WEB 講演会．東京，平成

26年2月12日.

10. 田島治:職場のうつ—現代型のうつ病の理解と対応. 三菱重工業株式会社神戸造船所管理者向けメンタルヘルス教育. 神戸, 平成26年度2月17日.
11. 田島治:なかなか治らないうつ病—その病態と対応を考える— 第5回杏林大学大学院保健学研究科講演会. 三鷹, 平成26年3月12日.

論文

1. 辻敬一郎, 田島治:新規抗うつ薬の有害作用 賦活症候群を含む情動面および行動面の変化を中心に. 医学のあゆみ, 244:386-390, 2013.
2. 田島治:向精神薬のマーケティングの影響. 臨床精神医学, 42:191-197, 2013.
3. 辻敬一郎, 田島治:抗うつ薬と自殺. Current Insights in Neurological Science, 19-20:16-17, 2013.
4. 田島治:うつ病の薬物療法 最近の実践から. 心と社会, 44:65-72, 2013.
5. 田島治:うつ病にまつわる最新キーワード 減薬・断薬. 調剤と情報, 19:1320-1321, 2013.
6. 田島治:双極性障害の概念と薬物治療を巡る問題. こころのクリニック, 14:6-17, 2014.

その他

1. 田島治:コラム映画マイク・ミルズのうつの話. マイク・ミルズのうつの話. 32-33, アップリンク, 東京, 2014.

母子保健学研究室

口演

1. 加藤英世:学校管理下の事故予防と対応. 八王子市立小学校教職員研修会 市立第九・北小学校. 八王子, 平成25年6月7日.
2. 石野晶子, 加藤英世:子どもの発達と健康. 青梅総合高校大学体験. 八王子, 平成25年7月13日.
3. 石野晶子, 加藤英世, 場家美沙紀, 松田博雄:子宮頸がん予防接種対象年齢児をもつ保護者のHPVワクチンに関する認識. 第60回日本小児保健学会. 東京, 平成25年9月27日.
4. 楠田美奈, 岩見文博, 片桐朝美, 太田ひろみ, 石野晶子, 大嶺智子, 加藤英世, 照屋浩司:幼児・児童を対象とした音響的骨評価値の標準域設定に関する研究. 第72回日本公衆衛生学会. 三重, 平成25年10月24日.
5. 古橋晃一, 加藤英世, 石野晶子, 酒井順子, 大塚絢子, 田邊郁恵, 太田ひろみ, 岩見文博, 楠田美奈, 照屋浩司:幼児および学童の重心動揺量の経年変化とその関連要因. 第60回日本学校保健学会. 東京, 平成25年11月16日.
6. 大塚絢子, 加藤英世, 石野晶子, 古橋晃一, 場家美沙紀:養護教諭の職務および養護教諭養成課程の課題に関する研究. 第60回日本学校保健学会. 東京, 平成25年11月16日.
7. 加藤英世:てんかん及び熱性けいれんの基礎知識とその対応. 西東京市立 中原小学校学校保健委員

会. 東京, 平成25年11月19日.

8. 加藤英世:子供の心の発達とその支援. 西東京市立小学校 学校保健部研修会. 東京, 平成25年12月21日.

著書

1. 加藤英世(分担):Ⅲ-5 保健医療・保健福祉論 母子保健対策, エッセンシャル 社会・環境と健康第2版第4刷, 高島豊編著, 東京, 医歯薬出版, 2014

運動器障害作業療法学研究室

口演

1. 望月秀樹:整形外科疾患へのアプローチ(肩関節運動のみかた). 366リハビリテーション病院研修会, 府中, 平成25年10月22日, 10月29日.
2. 望月秀樹:パワーリハビリテーションの疾患別運営方法. パワーリハビリテーション指導員研修会, 町田, 平成25年10月5-6日.
3. 原田祐輔, 長谷川利夫¹ (¹杏林大・保・精神障害作業療法学):訪問リハビリテーションに従事する作業療法士のメンタルヘルスに関する研究-訪問ストレスアンケートの作成・活用による意識調査-, 第2回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in 松本, 長野, 平成25年6月8-9日.
4. 原田祐輔, 長谷川利夫¹ (¹杏林大・保・精神障害作業療法学):訪問リハビリテーションに従事する作業療法士のメンタルヘルスに関する研究-訪問群・病院群でのストレス尺度の比較を通して-, 第47回日本作業療法学会, 大阪, 平成25年6月28-30日.

著書

1. 森田千晶:国家試験模試専門問題 義肢装具・福祉用具. 東京, 三輪書店. 2013.
2. 森田千晶:第Ⅱ部福祉用具の適応と目的 D. 6 切断. 福祉用具・住環境整備の作業療法. 東京, 中央法規. 2013. p. 143-148.
3. 森田千晶:Ⅴ上肢切断と義手, 上肢の運動学とバイオメカニクス. 義肢学第2版第4刷. 澤村誠志. 東京, 医歯薬出版. 2013. p. 237-252

その他

1. 森田千晶:乗馬リハビリテーション研究会平成25年度春の勉強会企画・開催, 神奈川, 平成25年5月19日.
2. 森田千晶:乗馬リハビリテーション研究会平成25年度冬の勉強会企画・開催, 神奈川, 平成25年12月1日.
3. 望月秀樹:日本自立支援介護学会第7回学術大会企画・開催, 東京, 平成25年5月25-26日.
4. 望月秀樹:第13回パワーリハビリテーション学術大会企画・開催, 東京, 平成26年3月1-2日.

精神障害作業療法学研究室

平成24年度 追加分

口 演

1. 早坂友成：現代のうつ病治療における作業療法の課題と果たすべき役割. 第46回日本作業療法学会. 宮崎, 平成24年6月15日.
2. 早坂友成：過重労働によってうつ病を発症した患者の作業特徴－ボールペン組立作業を用いた評価と治療. 第9回日本うつ病学会, 東京, 平成24年7月27日.
3. 早坂友成：うつ病治療において求められる作業療法士の役割. 平成24年度現職者選択研修会, 奈良, 平成24年9月2日.
4. 早坂友成：うつ病治療において求められる作業療法士の技術. 第48回精神科作業療法協会全国研修会, 東京, 平成24年9月15日.
5. 早坂友成：うつ病患者に対する作業療法研修会－うつ病治療における作業療法の役割と効果. 日本作業療法士協会重点課題研修会, 福岡, 平成24年10月20・21日.
6. 早坂友成：うつ病治療において必要とされる作業療法士の評価と治療. 平成24年度現職者選択研修会, 香川, 平成24年10月28日.
7. 早坂友成：うつ病患者に対する作業療法－概論, 評価, 治療. SMILE CHAIN, 東京, 平成25年2月10日.
8. 早坂友成：うつ病患者に対する作業療法－概論, 評価, 治療, 事例検討. 岡山県作業療法士会－精神障害部門研修会, 岡山, 平成25年2月17日.

論 文

1. 早坂友成, 岩瀬義昭, 山本伸一, 矢谷令子：作業療法と作業療法士－その使命を果たすために. 作業療法 32(1)：13-21, 2012.

著 書

1. 早坂友成：第1回PT・OT国家試験模擬試験－精神神経系. 東京, 医歯薬出版株式会社, 2012.
2. 早坂友成：第2回PT・OT国家試験模擬試験－精神神経系. 東京, 医歯薬出版株式会社, 2012.

その他（学会主催）

1. 早坂友成：第50回作業療法全国研修会企画・開催, 山梨, 平成24年10月26・27日.
2. 早坂友成：第51回作業療法全国研修会企画・開催, 岩手, 平成24年11月24・25日.

平成25年度

口 演

1. 早坂友成：精神科作業療法における評価のあり方－臨床に研究的視点を活かす方法. 大分県作業療法士協会－精神科作業療法研修会, 大分, 平成25年7月7日.
2. 早坂友成：うつ病患者に対する作業療法研修会－作業療法士の使命を果たすために. 日本作業療法士協会重点課題研修会, 静岡, 平成25年8月24・25日.
3. 早坂友成：作業療法フェスタ2013うつ病とリハビリテーション. 熊本県作業療法士会公開講座, 熊本, 平成25年10月6日.

4. 木納潤一, 谷川朋子, 松本裕二, 早坂友成：家族や親戚の世話と介護によりうつ病を発症した女性患者に対する作業療法～精神科急性期病棟における作業療法. 第33回近畿作業療法学会, 兵庫, 平成25年9月1日.
5. 木納潤一, 洪基朝, 谷川朋子, 早坂友成, 松本裕二：双極性感情障害患者に対しエネルギー配分表を用いて生活の取り組み方を再考した1症例. 第2回日本精神科医学会学術大会, 埼玉, 平成25年11月14日.
6. 早坂友成：うつ病患者に対する作業療法－概論, 評価, 治療. SMILE CHAIN, 東京, 平成26年1月11日.
7. 早坂友成：第1回OT塾－作業療法を後進に正しく伝える. OT塾実行委員会, 東京, 平成26年3月29・30日.
8. 長谷川利夫：精神科病院における隔離・身体拘束に関する専門職の意識の実態とその形成要因. NPO法人にいがた温もりの会, 新潟, 平成25年5月11日.
9. 長谷川利夫：隔離・身体拘束の世界的動向と日本の現状－作業療法士は何をすべきか～. 熊本, 平成25年6月15日.
10. 長谷川利夫：精神科病院における隔離・身体拘束に関する患者の声及び作業療法士の役割. 第47回日本作業療法学会, 大阪, 平成25年6月29日.
11. 原田裕輔, 長谷川利夫：訪問リハビリテーションに従事する作業療法士のメンタルヘルスに関する研究－訪問群・病院群でのストレス尺度の比較を通して－. 大阪, 平成25年6月29日.
12. 長谷川利夫, 「隔離・身体拘束と作業療法」精神科作業療法協会POTA全国研修会 in 山形, 山形, 平成25年9月14日.
13. 長谷川利夫, 「今改めて隔離・身体拘束を問う」日本病院・地域精神医学会第回総会, 札幌 平成25年10月12日.
14. 鈴木健太郎：作業療法と感覚統合. 品川区職員向け講座, 東京, 平成25年6月8日.
15. 鈴木健太郎, 佐藤知正：地域における高齢者生活支援ネットワーク作り, 第47回日本作業療法学会, 大阪, 平成25年6月28日.
16. 鈴木健太郎：作業療法における住環境整備に関する最近の研究状況, 第10回東京都作業療法士学会, 東京, 平成25年10月20日.
17. 鈴木健太郎：地域のリハビリテーション活動とソフト・ハード支援, 平成25年度第3回八王子プロジェクト推進会議, 東京, 平成25年11月2日.

著 書

1. 早坂友成：うつ病の作業療法. 東京, 医歯薬出版株式会社, 2013.
2. 早坂友成：うつ病患者に対する作業療法－作業療法マニュアル 54. 東京, 日本作業療法士協会, 2013.
3. 早坂友成：第1回PT・OT国家試験模擬試験－精神神経系. 東京, 医歯薬出版株式会社, 2013.
4. 早坂友成：第2回PT・OT国家試験模擬試験－精神神経系. 東京, 医歯薬出版株式会社, 2013.
5. 長谷川利夫：「精神科医療の隔離・身体拘束」. 東京,

日本評論社, 2013.

6. 長谷川利夫「変わるのか? 病院, 地域 精神保健福祉法改正を受けて」東京, 批評社, 2014.

その他

1. 早坂友成: OT アクセシビリティ事業化勉強会の紹介. 東京, 東京都作業療法士会ニュース, 2013.
2. 早坂友成: 第 52 回作業療法全国研修会企画・開催. 秋田, 平成 25 年 9 月 7・8 日.
3. 早坂友成: 第 53 回作業療法全国研修会企画・開催. 愛媛, 平成 25 年 10 月 26・27 日.
4. 長谷川利夫: 第 7 回精神保健フォーラム (精神保健従事者懇談会) 実行委員長. 東京, 平成 25 年 11 月 23 日.
5. 長谷川利夫: 新潟日報 「隔離拘束 幅広い議論を〜長谷川杏林大学教授が出版 精神科医療の実情を伝える」平成 25 年 7 月 24 日 週刊金曜日.
6. : ロングインタビュー「長谷川利夫杏林大学教授に聞く『声なき声』を届ける情報公開が最優先だ」平成 25 年 10 月 4 日号 週刊金曜日.
7. 長谷川利夫: 精神保健福祉法改正についてコメント平成 25 年 12 月 5 日 中日新聞.
8. 鈴木健太郎: NPHC 研究会企画・開催, 横浜, 平成 25 年 5 月 11 日.
9. 鈴木健太郎: 日本建築学会建築計画委員会高齢者・障害者等居住小委員会平成 25 年度公開講座企画, 東京, 平成 26 年 2 月 26 日.

認知障害作業療法学研究室

口 演

1. 河野眞: 発達のがかりな子どもたちは毎日何に困っているか?〜幼稚園や小学校での生活を支える視点から〜, 八王子学園都市大学いちょう塾, 八王子, 平成 25 年 5 月 7 日・14 日・21 日.
2. 河野眞: 被災地でのリハビリ支援, 杏林大学公開講演会, 三鷹, 平成 25 年 5 月 18 日.
3. 三浦和, 伊藤智典, 河野眞, 藤田賀子: 東日本大震災におけるリハビリテーション職種の活動, 第 48 回日本理学療法学会学術大会, 名古屋, 平成 25 年 5 月 26 日.
4. 長島泉: 身体から始めるために, 春待夜話の会 2013, 笠間, 平成 25 年 6 月 8 日.
5. 河野眞, 春原るみ, 石本馨, 小泉裕一, 森下賀子, 富田千尋, 原口裕希, 石井清志, 西本敦子, 古郡恵, 水谷志伸, 小檜山希: ある原発事故避難者支援活動における支援者コミュニティの変遷—福島県二本松市での 2 年間の活動経過から, 第 20 回多文化間精神医学会学術総会, 宇都宮, 平成 25 年 6 月 15 日.
6. 河野眞, 石井清志, 川村亨平, 工藤正包, 中村賢二: 国際協力 NGO とリハ専門職の協働による 東日本大震災被災者支援活動の展開—15 か月間の経過から—, 第 47 回日本作業療法学会, 大阪, 平成 25 年 6 月 28 日.
7. 古郡恵, 河野眞, 藤田賀子, 春原るみ, 石井清志:

作業療法士による災害支援に関する一考察—JOCV リハビリテーションネットワークの活動から—, 第 47 回日本作業療法学会, 大阪, 平成 25 年 6 月 28 日.

8. MIURA N, ITO T, KONO M: Challenges to support activities by therapists for survivors from the Eastern Japan Earthquake, 12th International Meeting of Physical Therapy Science in Korea, July 20th, 2013.
9. KONO M: The Basics of ROM exercise on lower limbs. Seminar of Bahdat Rehabilitation Center for Disabled Children, Tajikistan, August 12th-16th, 2013.
10. 三浦和, 伊藤智典, 河野眞, 森下賀子: リハビリテーション災害支援システムの構築を目指して, 第 3 回国際医療福祉大学学会学術大会, 大田原, 平成 25 年 8 月 31 日.
11. CHIWAKI N, KONO M, ISHIMOTO K, HARAGUCHI Y, MIURA N: ACTIVITY REPORT OF JOCV REHABILITATION NETWORK FOR REFUGEES FROM FUKUSHIMA NUCLEAR PLANT ACCIDENT, 6th WCPT-AWP & 12th ACPT Congress 2013, Taiwan, September 7th, 2013.
12. MIURA N, ITO T, KONO M, MORISHITA N: Activity of Therapists for Disaster Victims after the Earthquake, 6th WCPT-AWP & 12th ACPT Congress 2013, Taiwan, September 8th, 2013.
13. 下田信明: 認知症のケアとリハビリテーション・作業療法, 八王子学園都市大学いちょう塾, 八王子, 平成 25 年 9 月 24 日・10 月 1・8・15・22 日.
14. 小野和美, 石川未来, 河野眞: ある特別養護老人ホームで働く作業療法士の実態報告, 第 10 回東京都作業療法学会, 東京, 平成 25 年 10 月 20 日.
15. 石川未来, 小野和美, 河野眞: 特別養護老人ホーム作業療法士のリスクマネジメントと実態報告, 第 10 回東京都作業療法学会, 東京, 平成 25 年 10 月 20 日.
16. 鈴木直也, 河野眞: CBID 概要説明, JANNET 研究会 ポスト MDGs と障害で話題の障害インクルーシブな開発とは?, 東京, 平成 25 年 10 月 27 日.
17. 河野眞, 知脇希, 春原るみ, 石本馨, 西本敦子, 森下賀子, 工藤正包, 菊池真美子, 富田千尋, 田畑梨杏里, 三浦和, 星谷綾香, 松尾綾子, 石井博之: 大規模災害後復旧・復興期におけるリハビリテーション専門職による被災者支援の可能性—JOCV リハビリテーションネットワークによる東日本大震災被災者支援の経験から—, 第 28 回日本国際保健医療学会学術大会, 名護, 平成 25 年 11 月 2 日.
18. 田畑梨杏里, 砂原伸行, 石本馨, 春原るみ, 森下賀子, 河野眞: 東日本大震災の被災者支援ボランティア - 新人作業療法士が被災者支援を経験して -, 第 13 回東海北陸作業療法学会, 富山, 平成 25 年 11 月 2 日.
19. 河野眞: 国境を越えて楽しむリハビリテーションの仕事, 兵庫医療大学リハビリテーション学部国際交流セミナー, 神戸, 平成 25 年 11 月 28 日.
20. 河野眞: コミュニティへの働きかけを通じた健康増

進～東日本大震災被災者支援の経験から、リハビリテーション学院創立 50 周年記念祝賀会セッション 2「これからの健康増進の展望」、東京、平成 25 年 11 月 30 日。

21. 河野眞：二本松の仮設に通い続ける～リハネットによる福島第一原発事故避難者支援活動、JOCV リハビリテーションネットワークセミナー、京都、平成 26 年 2 月 8 日。
22. KONO M：Special Needs Education in Japan, School No.72, Tajikistan, March 14th, 2014.
23. KONO M：Special Needs Education in Japan, School No.28, Tajikistan, March 15th, 2014.

論文

1. IWANE T, YOSHIDA A, KONO M, HASHIMOTO H and YAMAMOTO S：Work support for persons with mental disabilities in Japan. Work45: 253-260, 2013.

著書

1. 下田信明：リーチ、把握、物品操作に障害を呈する患者の臨床的管理。モーターコントロール第 4 版。田中繁・高橋明監訳。東京、医歯薬出版。2013。p. 577-621.
2. 下田信明：病期と作業療法計画のたて方。作業療法士プロフェッショナル・ガイド。杉原素子編。東京、文光堂、2013。p. 97-105.
3. 河野眞：リハビリ分野の協力隊経験者のネットワークを活用しながら。東日本大震災と青年海外協力隊～自然災害への備えと提言～。協力隊を育てる会編著。東京、協力隊を育てる会。平成 25 年。p. 94 - 99.
4. 河野眞：「患者中心」が意味するものは何か。作業療法士プロフェッショナル・ガイド 作業療法士とは何か。杉原素子、古川宏編集。東京、文光堂。平成 25 年。p. 31 - 39.
5. 河野眞：作業療法と use of yourself。作業療法士プロフェッショナル・ガイド 作業療法士とは何か。杉原素子、古川宏編集。東京、文光堂。平成 25 年。p. 75 - 82.
6. 河野眞：国際的に活躍する日本の作業療法士。作業療法士プロフェッショナル・ガイド 作業療法士とは何か。杉原素子、古川宏編集。東京、文光堂。平成 25 年。p. 141 - 149.
7. 河野眞：社会。CBR ガイドライン。高嶺豊監訳。東京、日本障害者リハビリテーション協会。2014.

特許等知的財産関係、報告書

1. 三浦和、伊藤智典、藤田賀子、河野眞：リハビリテーション専門職種 理学療法士・作業療法士ができる災害への備えと災害後支援、平成 26 年 3 月。

その他

1. 下田信明：書評「孤独死を防ぐ 支援の実際と政策の動向」。日本在宅ケア学会誌 17：6。2014.
2. 河野眞：地域に根ざしたインクルーシブな開発 (CBID) の眺望、海外の地域リハビリテーションから学ぶ～青年海外協力隊隊員からの発信 (第 16 回)、地域リハビリテーション 8 (4), p316-318, 2013 年

4 月。

3. 河野眞：CBR で地域社会を掘り起こす～ウズベキスタンを例に、海外の地域リハビリテーションから学ぶ～青年海外協力隊隊員からの発信 (第 17 回)、地域リハビリテーション 8(5), p397-399, 2013 年 5 月。
4. 河野眞：CBID の芽吹きに向かって～タジキスタンでの経験から、海外の地域リハビリテーションから学ぶ～青年海外協力隊隊員からの発信 (第 18 回)、地域リハビリテーション 8(6), p476-478, 2013 年 6 月。
5. 河野眞：肩こりすっきりタオル体操、JICA ボランティア的プチテクガイド第 27 回、クロスロード 49(7)：p25, 2013 年 7 月。
6. 下田信明：日本在宅ケア学会平成 25 年度第 1 回公開講座企画・開催、東京、平成 25 年 10 月 13 日。
7. 河野眞：JANNET 研究会 ポスト MDGs と障害で話題の障害インクルーシブな開発とは？企画開催、東京、平成 25 年 10 月 27 日。
8. 河野眞：快適な眠りのために～よい睡眠習慣を身につけよう～、JICA ボランティア的プチテクガイド第 31 回、クロスロード 49(11), p25, 2013 年 11 月。
9. 河野眞：気分を整え、うつを防ぐ、JICA ボランティア的プチテクガイド第 34 回、クロスロード 50(2), p25, 2014 年 2 月。
10. 河野眞：巡回写真展「福島を元気にする青年海外協力隊」にて被災者支援活動の紹介、JICA 二本松主催、福島・会津若松・いわき・南相馬・二本松・郡山、平成 26 年 2 月 21 日 - 3 月 15 日。
11. 下田信明：日本在宅ケア学会平成 25 年度第 2 回公開講座企画・開催、東京、平成 26 年 3 月 15 日。
12. 下田信明：第 18 回日本在宅ケア学会学術集会企画、東京、平成 26 年 3 月 15・16 日。
13. 長島泉：第 5 回茨城県作業療法学会内容部門優秀賞。

中枢神経障害作業療法学研究室

口演

1. 村松憲¹、丹羽正利、長谷川達也²、佐々木誠一³、石黒友康¹ (¹ 健康科学大・理学療法、² 山梨県環境科学研究所・環境生化学研究室、³ 茨城県立医療大・医科学センター)：糖尿病によって γ 運動ニューロンが選択的に減少する 第 48 回日本理学療法学術大会、愛知、平成 25 年 5 月 24-26 日。
2. 芦川聡宏¹、村松憲¹、齋藤利恵、石黒友康¹、佐々木誠一²、丹羽正利 (¹ 健康科学大・理学療法、² 茨城県立医療大・医科学センター)：末梢神経損傷によって生じる運動ニューロンの形態変化 第 48 回日本理学療法学術大会、愛知、平成 25 年 5 月 24-26 日。
3. 芝原美由紀¹、八並光信²、一場友美³、齋藤利恵、塩之谷巧嘉⁴ (¹ 杏林大・小児発達障害系理学療法、² 杏林大・内部障害系理学療法、³ 杏林大・基礎系理学療法、⁴ 第 2 青い鳥学園) 肢体不自由児の体育・スポーツ活動の現状と課題 第 48 回日本理学療法学術大会、愛知、平成 25 年 5 月 24-26 日。

4. 八並光信¹, 齋藤利恵, 芝原美由紀², 倉林準¹, 門馬博¹, 一場友美³ (¹杏林大・内部障害系理学療法, ²杏林大・小児発達障害系理学療法, ³杏林大・基礎系理学療法) 在宅介護者の睡眠の質とメンタルヘルス及び介護負担感について 第48回日本理学療法学術大会, 愛知, 平成25年5月24-26日.
5. 齋藤利恵, 芝原美由紀¹, 丹羽正利, 八並光信² (¹杏林大・小児発達障害系理学療法, ²杏林大・内部障害系理学療法): 在宅介護者の介護負担と睡眠の質について 第47回日本作業療法学会, 大阪, 平成25年6月28日.
6. Ken Muramatsu¹, Masatoshi Niwa, Tomoyasu Ishiguro¹, Tatsuya Hasegawa², Sei-Ichi Sasaki³ (¹Dept of Physical Therapy, Health Science Univ, ²Dept of Environmental biochemistry, Yamanashi Institute of Environmental Sciences, ³Center for Medical Sciences, Ibaraki Prefectural Univ of Health Sciences) Diabetic polyneuropathy targets gamma motoneurons of the distal muscle of hindlimb in STZ rats. 第36日本神経科学大会, 京都, 平成25年6月20-23日.
7. 田中紗和子: ニカラグア障害児通所施設における活動, 作業療法重点課題研修—国際交流セミナー—, 東京, 平成25年9月.
8. 村松憲¹, 石黒友康¹, 丹羽正利, 升佑二郎¹, 玉木徹¹, 長谷川達也², 佐々木誠一³ (¹健康科学大・理学療法, ²山梨県環境科学研究所・環境生化学研究室, ³茨城県立医療大・医科学センター) 2型糖尿病モデルラットの γ 運動ニューロンが減少する. 第47回日本運動障害研究会, 東京, 平成26年1月18日.
9. 田中紗和子: ニカラグアという国を知っていますか?, JICA 国際協力出張出前講座, 東京, 平成26年1月.
10. 田中紗和子: ニカラグアという国を知っていますか?, JICA 国際協力出張出前講座, 東京, 平成26年1月.
11. 田中紗和子: ニカラグアという国を知っていますか?, JICA 国際協力出張出前講座, 東京, 平成26年2月.
12. 田中紗和子: ニカラグアという国を知っていますか?, JICA 国際協力出張出前講座, 東京, 平成26年3月.
13. 田中紗和子: ニカラグアという国を知っていますか?, JICA 国際協力出張出前講座, 東京, 平成26年3月.
14. 田中紗和子 他: ニカラグアにおける支援活動, JICA 青年海外協力隊 体験談&説明会, 東京, 平成26年3月.
15. Masatoshi Niwa, Sei-Ichi Sasaki¹ (¹Center for Medical Sciences, Ibaraki Prefectural Univ of Health Sciences) The property of Ia excitation and recurrent inhibition of abdominal motoneurons in the cat. 第91回日本生理学会大会, 鹿児島, 平成26年3月16-18日.
16. Sei-Ichi Sasaki¹, Masatoshi Niwa (¹Center for Medical Sciences, Ibaraki Prefectural Univ of Health Sciences)

Firing properties of medullary expiratory neurons during defecation. 第91回日本生理学会大会, 鹿児島, 平成26年3月16-18日.

論文

1. 齋藤利恵, 八並光信¹ (¹杏林大・内部障害系理学療法) 在宅介護者の介護負担とメンタルヘルスおよび心理社会的要因について PT-OT-ST Channel Online Journal 2(11):A2, 2013.
2. 齋藤利恵, 八並光信¹, 芝原美由紀², 門馬博¹, 鈴木輝美³, 三宅英司⁴, 三浦雅文⁵, 丹羽正利 (¹杏林大・内部障害系理学療法, ²杏林大・小児発達障害系理学療法, ³東京医療学院大・理学療法, ⁴永生クリニック, ⁵群馬医療福祉大・理学療法) 在宅における介護と睡眠の関連性について—Actigraphを用いた睡眠分析—運動障害研究会誌 23(2): 75-79, 2013.
3. 芦川聡宏¹, 村松憲¹, 齋藤利恵, 石黒友康¹, 佐々木誠一², 丹羽正利 (¹健康科学大・理学療法, ²茨城県立医療大・医科学センター): 末梢神経損傷によって生じる運動ニューロンの形態変化. 運動障害研究会誌 23(2): 85-89, 2013.
4. 村松憲¹, 丹羽正利, 石黒友康¹, 長谷川達也², 佐々木誠一³ (¹健康科学大・理学療法, ²山梨県環境科学研究所・環境生化学研究室, ³茨城県立医療大・医科学センター) 糖尿病による錐内筋線維の変性. 運動障害研究会誌 23(2): 81-84, 2013.

その他

1. 田中紗和子: やけどの応急処置, JICA ボランティア的プテテクガイド, 第32回クロスロード 49(12)25, 2013年.
2. 田中紗和子: こむら返りの予防と対応, JICA ボランティア的プテテクガイド, 第33回クロスロード 50(1)25, 2013年.

放射線医学研究室

口演

1. 黒木一典, 増田裕, 似鳥俊明, 竹山信之, 林高樹, 橋本東児, 樋口恵子: IVRにおける情報の共有—IVR医の立場から—. 第42回日本IVR学会シンポジウム, 軽井沢, 平成25年5月16-18日.
2. 増田裕, 森永圭吾, 立石秀勝, 岩元香保里, 本谷啓太, 荏安俊哉, 木下雄介, 黒木一典, 似鳥俊明: マルチスライスCTガイド下による経皮的横隔膜下膿瘍ドレナージ. 第42回日本IVR学会, 軽井沢, 平成25年5月16-18日.
3. 本谷啓太: 整形外科領域のMRI(上肢を中心に). 葛飾フレッシュマンズフォーラム2013, 東京, 平成25年5月26日.
4. 藤野節, 森井健司, 田島崇, 本谷啓太, 寺戸雄一, 高木正之, 望月一男: 腸骨転移を来した高齢者の肋骨腫瘍の1例. 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 東京, 平成25年7月11-12日.
5. 本谷啓太: がん画像の診断のポイント—骨・軟部領域—. 遠隔画像診断支援インテンシブ生涯教育コー

ス 2013- 遠隔画像診断支援に必要な ABC- 駒沢大学 文科省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 第2回 がん画像診断支援「入門・基礎コース2」, 東京, 平成25年7月13日.

6. 黒木一典: 進化する放射線科医の未来, 研修医のための画像診断セミナー. 東京, 平成25年8月17日.
7. 土屋充輝, 本谷啓太, 林真弘, 似鳥俊明他: 左大腿に発生した骨外性 Ewing 肉腫/PNET の1例. 第49回日本医学放射線学会秋季大会, 名古屋, 平成25年10月12-14日.
8. 岩元香保里, 村上清寿, 増田裕, 黒木一典, 似鳥俊明: 当院における永久留置型下大静脈フィルター有害事象についての検討. 第42回杏林医学会総会, 三鷹, 平成25年11月16日.
9. 黒木一典: X線撮影・血管撮影と読影の補助について. 診療放射線技師応用技術講習, 東京, 平成25年12月15日.
10. 黒木一典: がん画像診断技術の治療的応用 -IVR 編-. 駒沢大学がんプロフェッショナル養成基盤推進プランセミナー, 横浜, 平成26年1月19日.

論文

1. 黒木一典, 本谷啓太, 塚原弥生, 横山健一, 似鳥俊明: 胸痛 (突然の痛み). 臨床画像 29(10) 増刊号, 87-91, 2013.
2. 黒木一典, 本谷啓太, 塚原弥生, 横山健一, 似鳥俊明: 胸痛 (慢性). 臨床画像 29(10) 増刊号, 92-97, 2013.
3. 荏安俊哉, 横山健一, 本谷啓太, 似鳥俊明: 冠動脈の解剖 (AHA 分類) を知っていますか?. 臨床画像 29(4), 70-72, 2013.
4. 本谷啓太, 土屋一洋: ニューロナースの疑問に答える! 脳神経疾患画像診断レクチャー (第17回) 外傷 急性硬膜下血腫/急性硬膜外血腫/慢性硬膜下血腫 (図説), Brain 3(5) 354-361, 2013.

医用画像情報学研究室

口演

1. 安達卓哉, 山下晃司, 坂本岳士, 中西章仁, 大戸真喜男, 網本直也: カセット型 FPD 用グリッドモアレ除去処理についての検討, 日本放射線技術学会第69回総合学術大会, 横浜, 平成25年4月11-14日.
2. 吉岡達也, 宮崎功, 小林邦典, 石村理恵子, 横山健一, 似鳥俊明他: トレーニングスキャンレス k-t 法による心臓リアルタイムシネ撮像の有用性評価, 第41回日本磁気共鳴医学会大会, 徳島, 平成25年9月19-21日.
3. 石村理恵子, 横山健一, 荏安俊哉, 似鳥俊明, 小林邦典他: トレーニングスキャンレス k-t 法による心臓リアルタイムシネ撮像の臨床例における検討, 第41回日本磁気共鳴医学会大会, 徳島, 平成25年9月19-21日.
4. 高橋沙奈江, 宮崎功, 小林邦典, 五明美穂, 似鳥俊明他: 頭蓋内主幹動脈プラーキイメージングの撮像条

件の検討, 第41回日本磁気共鳴医学会大会, 徳島, 平成25年9月19-21日.

5. 五明美穂, 土屋一洋, 大原有紗, 立石秀勝, 宮崎功, 小林邦典他: 頭蓋内主幹動脈プラーキイメージングの初期臨床応用, 第41回日本磁気共鳴医学会大会, 徳島, 平成25年9月19-21日.
6. 清水祐太, 坂本岳士, 安達卓哉, 清水真太郎, 市川浩三, 大戸真喜男: 320 列 CT における短時間撮影についての基礎的検討, 日本放射線技術学会第41回秋季学術大会, 福岡, 平成25年10月17-19日.
7. 小林邦典: 磁力の魅力—MRI でわかること—, 第一回吉祥寺セミナー“散乱線”, 東京, 平成25年11月16日.

論文

1. Higashihara E, Nutahara K, Okegawa T, Shishido T, Tnanbo M, Kobayashi K, Nitatori T: Kidney volume and function in autosomal dominant polycystic Kidney disease, Clinical and Experimental Nephrology, 18:157-165, 2014.

著書

1. 似鳥俊明, 小林邦典, 黒木一典, 本谷啓太, 坂本岳士, 他: 3 次元画像から学ぶ CT・MRI 断層解剖, 似鳥俊明, 小林邦典編, 東京, メディカル・サイエンス・インターナショナル株式会社.

放射線安全管理学研究室

口演

1. 松塚雅博¹, 伊豆田誠史², 石川友美³, 関健介, 後藤恭一⁴, 金子哲也^{1,4} (¹杏林大, ²杏林大・環境研, ³財) 静岡県生活科学検査センター, ⁴空港環境整備協会航空環境研究センター): 降水の溶存化学種から見た八王子の大気環境Ⅱ, 環境科学会 2013 年会, 静岡, 平成25年9月3-4日.
2. 関健介, 松塚雅博¹, 金子哲也^{1,2} (¹杏林大, ²空港環境整備協会航空環境研究センター): 学校水泳プールにおける過マンガン酸カリウム消費量簡易測定に関する基礎的研究, 第72回日本公衆衛生学会総会, 三重, 平成25年10月23-25日.
3. 後藤恭一¹, 関健介, 松塚雅博², 金子哲也^{1,2} (¹空港環境整備協会航空環境研究センター, ²杏林大): 航空機騒音による心身影響に関する検討, 第72回日本公衆衛生学会総会, 三重, 平成25年10月23-25日.
4. Sekizawa K¹, Kato T¹, Tamura T¹, Seki K, Shima Y¹, Kurosawa K², Tanabe H³, Kishi K¹: (¹Kyorin Univ, ²Division of Medical Genetics, Kanagawa Children's Medical Center, ³Department of Evolutionary Studies of Biosystems, School of Advanced Studies, The Graduate University for Advanced Studies (Sokendai)): A software program for learning symbols and abbreviations used in karyotype description. 第64回年会 染色体学会, 富山, 平成25年11月8-10日.
5. 松塚雅博¹, 関健介, 伊豆田誠史², 石川友美³, 金

子哲也¹ (¹ 杏林大, ² 杏林大・環境研, ³ 財) 静岡県生活科学検査センター): 最終処分場近隣の井戸水における水質変化, 第 78 回日本民族衛生学会総会, 佐賀, 平成 25 年 11 月 15-16 日.

6. 関澤浩一¹, 加藤誠久¹, 田村高志¹, 関健介, 島幸夫¹, 黒澤健司², 田辺秀之³, 岸邦和¹: (¹ 杏林大, ² 神奈川県立こども医療センター・遺伝科, ³ 総合研究大学院大学・先端科学研究科): ヒト核型の国際命名規約を学習するためのソフトウェア開発. 日本人類遺伝学会 第 58 回大会, 仙台, 平成 25 年 11 月 21-23 日.
7. 田中薫, 田村陽介¹ (¹ 杏林大院): アリシン (allicin) の多配座解析と回転障壁の検討, 第 134 回日本薬学会年会, 熊本, 平成 26 年 3 月 29 日.
8. 田村陽介¹, 田中薫 (¹ 杏林大院): 分子軌道法による溶媒中におけるカプサイシン類の配座解析, 第 134 回日本薬学会年会, 熊本, 平成 26 年 3 月 29 日.

論文

1. 関健介: 金属切削油剤使用作業場の悪臭改善に関する基礎的研究. 民族衛生 79(6): 141-148, 2013.

報告書

1. 田中薫: 食品に含まれる抗酸化物質を対象とした多配座解析. Tsubame 共同利用 平成 25 年度学術利用成果報告書.

量子医療技術学研究室

論文

1. Kitagawa T, Kosuge H, Chang E, James M L, Yamamoto T, Shen B, Chin F T, Gambhir S S, Dalman R L, McConnell M V: Integrin-Targeted Molecular Imaging of Experimental Abdominal Aortic Aneurysms by ¹⁸F-labeled Arg-Gly-Asp Positron-Emission Tomography. *Cir Cardiovasc Imaging* 6: 950-956, 2013.

著書

1. 山本智朗 (分筆): 第 2 章 核医学検査技術 E. 撮像技術 収集技術. 遠藤啓吾編, 東京, 文光堂, 2013, p. 612-619.